

Kansai University
Library Forum

関西大学

図書館フォーラム

2023

第28号



Kansai University
Library Forum

関西大学

図書館フォーラム

2023

第28号

図書館屋上防水工事

屋 上



中 庭



北側入口



総合図書館 企画展

関西大学図書館 全館巡回企画展

図書館スタッフがおすすめする「今のあなた」に読んでほしい本！

学生時代に読んだ本

図書館スタッフが学生時代に読んだ、夢中になった本、気づきを与えてくれた本、学生生活に役立った本などを集めました！

全館展示中

各館、学期ごとに展示テーマが変わります！

春学期：総合図書館 2F開架
高槻キャンパス図書館

秋学期：ミューズ大学図書館
堺キャンパス図書館

【主催・問い合わせ先】
図書館総務課サービス課 TEL: 06-6368-0169 MAIL: ku-library@rel.kandai.jp

関西大学図書館 全館巡回企画展

図書館スタッフがおすすめする「今のあなた」に読んでほしい本！

全館展示中

各館、学期ごとに展示テーマが変わります！

春学期：ミューズ大学図書館
堺キャンパス図書館

秋学期：総合図書館 2F開架
高槻キャンパス図書館

**学生時代に
出会いたかった本**

もし学生時代、この本に出会っていたら、人生がまた違ったものになっていたかもしれません。そんな魅力満載の本をご紹介します！

【主催・問い合わせ先】
図書館総務課サービス課 TEL: 06-6368-0169 MAIL: ku-library@rel.kandai.jp



高槻キャンパス図書館 企画展・ミニ展示

百年史～関西大学と文学のあゆみ～

1922 暗夜行路 夜明け前 津軽 袖雪 百年の孤独

1940 砂の女 沈黙 破れた網

1960 マイケル・K

1980 阿士の愛した歌式 火花

2000 夜が明ける

2022

関西大学が大学昇格100年を迎えたことを記念して、この100年に刊行された文学作品を大学の百年史とともに展示します。関西大学の歴史に思いを馳せながら、各時代の文学作品を味わってみませんか。

高槻キャンパス図書館 2022年4月

高槻キャンパス図書館 企画展

メディアが繋ぐ情報

展示期間 2023年1月～3月

2023年12月、日本でのテレビ放送開始から70年を迎えます。それと同時に、テレビ・新聞等のマスメディアからSNSまで、メディアについての本を幅広く集めました。近年のメディア研究を軸に、時代と共に振り返るメディア環境の探りも進みます。また、関連資料としてメディアリテラシーの本も紹介します。



高槻キャンパス図書館 企画展

展示期間：2022年7月～9月

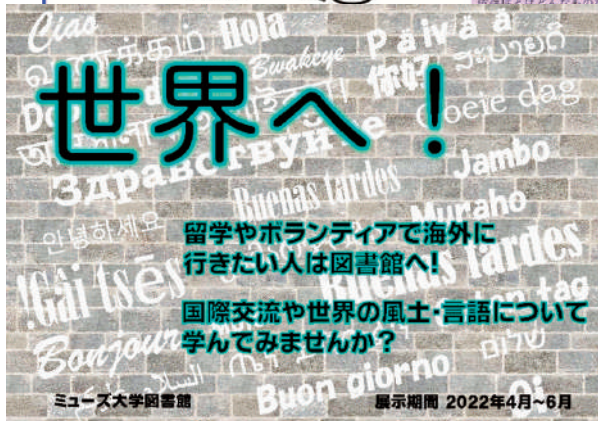
聞く

聞く・話す・伝える

話す

伝える

大勢の前での発表や面接などに自信を持って臨めるよう、コミュニケーションで大切な「聞く・話す・伝える」力がアップする資料を集めました。対面式やオンラインなど、いろいろな場面でのコミュニケーションスキルを高めるために役立ててください。



虫ぼし抄

アーカイブで迎える LGBTQ+ の歴史 井谷 聡子 1

〈図書館自己点検・評価について〉 図書館自己点検・評価委員会 5

図書館談話室

セミナー「災害と図書館」は何を語っていたのか? 榎本 啄 杜 35

図書館活動報告

2022 年度図書館活動報告 41

「新入生に贈る 100 冊」にかかわる読書推進活動について 浦田 恵子 45

図書館出版物案内 48

『関西大学図書館フォーラム』投稿要項 49

編集後記

アーカイブで辿るLGBTQ+の歴史

井谷 聡子

すごいアーカイブが関大にやってきた

関西大学の図書館のコレクションにセクシュアリティとジェンダーのアーカイブ (*Archives of Sexuality and Gender*) のパートIとIIが加わることになった。タイトルの通り、これらはセクシュアリティとジェンダーに関する歴史資料の電子コレクションシリーズで、全部で5つのパートから成る。日本では、第I部と第II部が先行してリリースされることになり、早々に関大図書館にも導入されることになった。5つのパートは、それぞれ以下のようなタイトルが付いている。

- ①1940年以降のLGBTQの歴史と文化 第I部
- ②1940年以降のLGBTQの歴史と文化 第II部
- ③16~20世紀の性とセクシュアリティ
- ④LGBTQ アクティヴィズムと文化に関する国際的視点
- ⑤フランス国立図書館「地獄」コレクション

これらのアーカイブ資料が関大に入ると決まった時、ジェンダーとセクシュアリティ研究に携わる者として心躍る思いがした。これらの資料の中心は、欧米の英語圏におけるものであるが、フェミニズム運動も含め、LGBTQ+の歴史や、性をめぐる社会規範がどのように変化してきたのか、厳しい差別に晒されてきた人々がどのように自分たちのコミュニティを作り、また差別解消と人権と命を守るために社会や政府に働きかけてきたのかなど、国や地域をまたぐ重要な研究課題に向き合う上で、大変貴重な資料だ。

また社会運動のあり方だけでなく、「LGBT」や「性的マイノリティ」と大きく一括りにして語られが

ちだけれども、実際には民族もジェンダーも、宗教や心身の状況、社会経済状況、そして文化も多様な人々が、インターネット以前の社会でどのようにお互いを見つけ、繋がり、支えあい、また時には複雑に対立し合いながら生活し、コミュニティを作ってきたのか、人々の日常とその歴史を知る上でも、このアーカイブはたくさんの情報をもたらしてくれる。

デジタル・コレクションの重要性

公的な記録に現れる歴史や、著名人の暮らしぶりや言葉は様々な形で豊富な歴史的資料として残されており、多くの研究者たちが携わって記録を残してきた。しかし、女性やLGBTQ+など、社会で周縁化されてきた人々は、公的な資料に記録されることがほとんどなく、そうした資料を中心に進められてきた「伝統的」な歴史研究の中では、その存在が表に現れることはほとんどなかった。それは、政府や歴史研究が長く男性中心であったこと、そして男性の中でもその社会で支配的な民族出身で、異性愛者、シスジェンダー（トランスジェンダーではない人）で重い障害のない、中流階級以上の人々が歴史研究者となり、本を書いてきたことによる。

このように、社会を構成する多様な人々のうち、ごく一部の人の歴史が、その国や社会の歴史を代表してきてしまったことで、そこには大きな偏りが存在してきた。英語で歴史を意味する“history”という言葉も、“his-story”、つまり「男たちの物語」である。そうした特定の男性を中心とした歴史は、フェミニズム運動を契機としたジェンダー研究の盛り上がりの中で反省されるようになった。特に1980年代以降、“herstory”とも表現される女性史に始まり、ジェンダー史へと研究の枠組みが発展する中で、特

に2000年代からはLGBTQ+の歴史についても研究が大きく前進するようになった。

こうして、ここ数十年の間にジェンダーとセクシュアリティの歴史に関する新たな資料が次々に発見され、収集されてきたが、それらの多くは地域の活動家が個人で収集したものであったり、小さなコミュニティ・センターが細々と守ってきたアーカイブの中にあたりして、容易にアクセスすることができなかった。特に私のようにアメリカ合衆国やカナダにおけるLGBTQ+の人々の運動やコミュニティにおける活動について関心を持っている研究者は、短い休みの間にその国に飛び、コミュニティとの関係を作りながらアーカイブの在処を突き止めたり、関係者にインタビューをしたりしながら記録を作る必要があるため、資料探しと情報収集には膨大な時間とお金がかかる。今回導入されたアーカイブは、そうした作業の多くを日本にしながら進めることを可能にしてくれるだけでなく、すでに資料が整理され、デジタル化されているおかげでキーワード検索ができ、関心のあるテーマに関する資料と思う存分に向き合うことができる。

とても現実的な話をすると、海外ではこうした貴重なアーカイブ資料のデジタル化がどんどん進められている一方で、資料の整理と管理、デジタル化には当然膨大なお金がかかるため、アーカイブへのアクセスが有料であることが多い。今回取り上げた「セクシュアリティとジェンダーのアーカイブ」も、人文系の研究者が個人で獲得できる研究費ではなかなか手が出ない高額な資料である。そのような資料が大学の図書館に導入されたことで、専任教員だけではなく、大学院生や学部生もアクセスできる貴重な一次資料となった。特に院生や学部生が海外のアーカイブに度々足を運ぶための資金を獲得することは難しいため、海外のLGBTQ+の歴史やフェミニズム運動に関心があっても、それを研究テーマにすることが難しい。その意味においても、このコレクションが本学に加わったことで、この研究領域を牽引する若い研究者の成長に大いに貢献してくれるに違いない。

次の項では、コレクションの紹介文を抜粋しながら、より具体的な内容を紹介したい。もちろん、全

ての資料に目を通してはいるわけではないので、ここで言及することができないテーマや貴重な資料が多く隠されていることだろう。それらを日本にいなから検討し、発見することができるのも、デジタル・アーカイブの大きな強みだ。

「1940年以降のLGBTQの歴史と文化」

コレクション第I、II部には、大型の国際的な活動団体から、地元で活動する草の根団体まで、数百の機関や組織から収集された資料が収められている。第I部では、1940年以降のLGBTQ+の歴史と文化の重要な側面を示す資料が含まれている。より具体的には、1940年から2014年までに作成された資料が含まれており、その多くが1950年から1990年の間にアメリカ合衆国とイギリスで作成されたものである。

例えば、記録に残る中では欧米圏で初めて作られたゲイ男性のための運動団体である Mattachine Society や、その直後に設立されたレズビアン女性の団体である Daughters of Bilitis、イギリスで同性愛者の非犯罪化を目指して活動した Albany Trust など、ゲイ・レズビアンの人権運動の中で重要な役割を果たした政治的・社会的組織の記録や出版物が含まれる。

また、特に1980年以降の資料には、LGBTQ+コミュニティが、ウイルスだけでなく差別と偏見との闘いを強いられたHIV/AIDS危機をめぐるものが多く含まれる。レーガン政権やそれを引き継いだブッシュ政権によるエイズ危機への対応をめぐる資料や、当事者と支援者らによる直接行動をその活動の中心とし、クィア・アクティビズムの大きな流れを作ったACT UPの活動に関する詳細な記録も大変貴重なものである。

これらの記録からは、人間が新たなウイルスの脅威に直面した時、マイノリティの命と暮らしが政府やマジョリティ社会からどのように扱われるのか、誰の命が優先され、誰の命は失われてもいいものとして扱われるのかという、新型コロナウイルスのパンデミックに翻弄される今日の私たちにも突きつけられる問いと、その歴史的に繰り返されてきた課題が浮かび上がる。

また、欧米諸国だけでなく、35カ国以上のゲイ&

レズビアンやゲイの団体やグループが発行した新聞、エイズの世界的影響を含むゲイの権利と健康に関する報告書、政策や声明、その他の文書がアーカイブに含まれている。

そうした比較的歴史の表舞台に残りやすい大型組織の記録だけでなく、そのコミュニティを構成する多様な人種、民族、年齢、宗教、政治的志向、地理的位置など、立場の異なる個人の経験を垣間見ることのできる資料も含まれている。レズビアンやゲイ男性らによるコミュニティ向けの手作りのニュースレターや新聞、定期刊行物や、個人的な手紙やインタビューが含まれている。例えば、Gay, Lesbian, Bisexual, Transgender Historical Societyの資料には、スピリチュアリティを志向するグループであるQ Spirit フォーラムやSouthern California Council on Religion and the Homophileといった、現在は消滅しているグループの出版物のものもある。また、Lesbian Herstory Archivesのコレクションには、1970年から2008年までの主流とオルタナティブな出版物が含まれている。

また、レズビアン関連のアーカイブとしては世界最大の資料集を誇るLesbian Herstory ArchivesやGay, Lesbian, Bisexual, Transgender Historical Society、Canadian Lesbian and Gay Archivesなどのコレクションには、アメリカ合衆国とイギリスといった英語圏以外にも、ドイツ語、ポーランド語、スペイン語、ロシア語、日本語、フランス語、イタリア語、ヘブライ語、インドネシア語などの資料が含まれる。ラトビアやジンバブエなど、非欧米諸国の定期刊行物やニュースレターもあるが、残念ながらこうした非欧米・非英語圏の資料は限定的で、これからの発展が望まれる領域である。

こうした多様な国や地域、コミュニティから集められたこれらのコレクションは、コミュニティの形成と育成、地域・国内・国際ニュースの提供、会議・デモ・その他のイベントの広告、娯楽の話題や、LGBTQフレンドリーなビジネスの紹介など、インターネット到来以前の世界における印刷メディアが、場所は異なっても世界各地のLGBTQの人々にとって多くの機能を持ち、コミュニティの維持や、コミュニティをベースにしたケアの実践に貢献してきた

ことを明らかにしてくれる。

フェミニズム運動に関わる資料も豊富である。例えば、「Phyllis Lyon and Del Martin: Beyond the Daughters of Bilitis」コレクションには、リオンとマーティンによる家庭内暴力に関する本や、全米女性組織（NOW）との活動に関連する文書が含まれている。Lesbian Herstory Archivesのファイルの多くは女性解放運動に関するもので、Sexual Politics in Britain コレクションは、特にイギリスにおける女性解放運動の記録である。

日本のジェンダー研究でも、近年急速に「インターセクショナリティ」という言葉の認知が広がり、ジェンダー問題というシングルイシューだけでは見えてこない複雑で重層的な差別の構造に対する注目が高まっている。人種や民族、セクシュアリティ、障害など、複雑に絡まり合う支配・差別構造に対して、マイノリティ化された女性たち、例えばレズビアン女性やトランス女性らがどのように問題意識を言語化し、主流のフェミニズム運動に対して異議申し立てをし、時にはオルタナティブな運動の場づくりをしてきたのかについて、このアーカイブの資料が重要な示唆を与えてくれるだろう。

関大図書館はジェンダーとセクシュアリティの歴史を研究する資料の宝庫

今回は、「セクシュアリティとジェンダーのアーカイブ」を紹介したが、関大図書館にはそれ以外にもジェンダーとセクシュアリティの研究を行う上で重要な資料が多く所蔵されている。近年社会的にも注目が集まっているトランスジェンダーに対する差別と人権擁護のための運動に関する様々な著作が、日本語だけでなく、英語のものも含め徐々に集められている。例えば、Routledgeから出されている『Transgender Studies Reader』の第1巻と第2巻、『The Sage Encyclopedia of Trans Studies』の第1巻と第2巻も収蔵されており、トランスジェンダー研究の歴史と現在を学ぶ上で重要な資料が揃っている。まだ日本にはトランスジェンダー研究を名前に冠した学会や研究誌はないものの、この領域は現在若手研究者による蓄積が目覚ましく、関大のこうした資料を活用して日本を牽引する研究者が育つのも

時間の問題のように思われる。

最後に、図書館予算が厳しいことを承知した上であえて贅沢な願いを書くとするなら、関大図書館には、『GLQ: a journal of lesbian and gay studies』や『TSQ: Transgender Studies Quarterly』など、世界を代表するクィア、トランスジェンダー研究のジャーナルの定期購読を期待したい。日本でもまだ数少ないセクシュアリティ研究を専門とする研究者が、専任と非常勤研究者を合わせると関大には複数在籍している。これは、研究者も学生数も多い大規

模校だからこそ可能になったと言えるだろう。これから更なる発展が見込まれ、社会的にも重要な役割が期待されているセクシュアリティ研究の現在を合わせて考えると、こうした資料が本学で積極的に収集されることには重要な意義がある。これらの貴重なコレクションと研究者のネットワークを通して、本学がジェンダーとセクシュアリティ研究の中心地として発展し、社会に重要な貢献をしていくことを願ってやまない。

(いたに さとこ 文学部 准教授)

図書館自己点検・評価について

2022年度

□ 目 次 □

自己点検・評価関係資料

- 1 基礎データ（2022年度）…………… (1)
- 2 10年間の推移（2013年度～2022年度）…………… (20)
- 3 2022年度図書館自己点検・評価委員会名簿…………… (28)
- 4 図書館自己点検・評価委員会規程…………… (29)

図書館自己点検・評価委員会

自己点検・評価関係資料

1 基礎データ (2022 年度)

- (1) 入館者に関する統計
 - a 過去5年間の館別・月別開館日数
 - b 館別・所属別入館者数および1人当り平均入館回数
 - c 館別・月別・資格別入館者数および1日当り平均入館回数
 - d 時期別・時間帯別総入館者数および1日当り平均入館者数 (総合図書館)
 - e 過去5年間の地域市民の図書館利用申請者数 (総合図書館・ミューズ大学図書館・堺キャンパス図書館)
- (2) 図書資料の利用に関する統計
 - a 館別・月別図書利用者数および利用冊数
 - b 月別入庫検索者数 (総合図書館)
 - c-1 グループ閲覧室の利用状況 (総合図書館)
 - c-2 グループ閲覧室の利用目的 (総合図書館)
 - c-3 ラーニング・コモンズの利用状況 (総合図書館)
 - c-4 ラーニング・コモンズの利用目的 (総合図書館)
 - d-1 Webによるサービスの利用状況
 - d-2 Web機能の使用状況
 - e 文献複写サービス
 - f 図書館間相互利用件数
 - g 参考業務 (総合図書館)
 - h 利用指導
 - i 学内で閲覧利用できる電子ジャーナル
 - j 過去5年間の文献・情報データベース検索回数
 - k リポジトリ登録件数・アクセス数・ダウンロード数の推移
 - l 資料電子化の推移
 - m キャンパス間相互利用件数 (予約取寄せ)
 - n 利用者用パソコン設置台数
- (3) 蔵書に関する統計
 - ① 収書状況
 - a 図書資料の所蔵数 (2022年度末現在)
 - b 過去5年間の図書の受入数
 - c 図書資料異動状況
 - d 雑誌・新聞受入種類数
 - ② 分類別所蔵図書冊数 (日本十進分類法による)
 - ③ 分類別所蔵雑誌種類数 (日本十進分類法による)
 - ④ 分類別冊数と分類別冊数の全体に占める割合
 - a 分類別冊数
 - b 分類別冊数の全体に占める割合
 - ⑤ 過去5年間の図書館資料費執行額
 - ⑥ 過去5年間の電子資料に係る経費執行額
- (4) その他関連統計等
 - a 過去5年間の図書館職員
 - b 学生の閲覧座席数 (2023年4月1日現在)
 - c 10年間の展示会テーマと会期
 - d 資料の出陳・放映 (学外からの依頼分)

(1) 入館者に関する統計

a 過去5年間の館別・月別開館日数

館名 \ 月	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合図書館	2018年度	30 (5)	31 (7)	28 (4)	29 (5)	19 (0)	24 (1)	31 (5)	26 (4)	25 (4)	25 (4)	16 (0)	20 (0)	304 (39)
	2019年度	30 (6)	31 (8)	29 (4)	31 (4)	19 (0)	26 (2)	30 (6)	26 (3)	24 (4)	26 (4)	16 (0)	18 (0)	306 (41)
	2020年度	9 (0)	— (—)	14 (0)	25 (0)	16 (0)	27 (1)	31 (4)	29 (6)	26 (3)	24 (4)	16 (0)	23 (0)	240 (18)
	2021年度	26 (3)	18 (0)	27 (1)	30 (4)	16 (0)	26 (1)	31 (5)	30 (6)	25 (3)	24 (4)	16 (0)	23 (0)	292 (27)
	2022年度	30 (4)	31 (8)	29 (3)	31 (5)	18 (0)	26 (1)	31 (5)	26 (4)	26 (4)	25 (5)	16 (0)	23 (0)	312 (39)

高槻 キャンパス 図書館	2018年度	24	24	23	24	17	20	26	24	21	21	22	21	267
	2019年度	24	23	25	27	15	22	24	25	20	22	21	20	268
	2020年度	9	—	12	21	12	23	27	23	23	20	21	23	214
	2021年度	23	18	26	26	13	22	26	24	22	20	21	23	264
	2022年度	25	23	26	26	16	22	26	22	22	20	21	23	272
ミューズ 大学図書館	2018年度	24	24	23	24	17	20	26	24	21	21	22	21	267
	2019年度	24	23	25	27	15	22	24	25	20	22	21	20	268
	2020年度	9	—	12	21	12	23	27	23	23	20	21	23	214
	2021年度	23	18	26	26	13	22	26	24	22	20	18	23	261
	2022年度	25	23	26	26	16	22	26	22	22	20	21	23	272
堺キャンパス 図書館	2018年度	24	24	24	24	17	20	26	24	21	21	22	21	268
	2019年度	24	23	25	27	15	22	24	25	20	22	21	20	268
	2020年度	9	—	12	21	12	23	27	23	23	20	21	23	214
	2021年度	23	18	26	26	13	22	26	24	22	20	21	23	264
	2022年度	25	23	26	26	16	22	26	22	22	20	21	23	272

注1 総合図書館の下段（ ）は内数で、授業期間中の日曜・祝日開館日数を示す。高槻・ミューズ・堺の各図書館は日曜・祝日は休館。

注2 夏季一斉休業期間中の休館 8月11日～8月20日

注3 冬季一斉休業期間中の休館 12月27日～1月6日

注4 入学試験等による休館 2月1日～2月7日

注5 年度末休館 3月29日～3月31日

b 館別・所属別入館者数および1人当たり平均入館回数

所属		館名	総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミューズ大学図書館	堺キャンパス図書館
学部 学生	法 学 部	入 館 者 数	59,067	6	91	218
		平均入館回数	19.2	0.0	0.0	0.1
	文 学 部	入 館 者 数	62,997	11	44	256
		平均入館回数	19.1	0.0	0.0	0.1
	経 済 学 部	入 館 者 数	40,190	0	63	111
		平均入館回数	12.8	0.0	0.0	0.0
	商 学 部	入 館 者 数	30,633	17	82	56
		平均入館回数	9.9	0.0	0.0	0.0
	社 会 学 部	入 館 者 数	29,588	5	113	46
		平均入館回数	8.9	0.0	0.0	0.0
	政策創造学部	入 館 者 数	21,735	2	30	45
		平均入館回数	14.6	0.0	0.0	0.0
	外国語学部	入 館 者 数	7,799	0	5	42
		平均入館回数	11.1	0.0	0.0	0.1
	人間健康学部	入 館 者 数	2,013	2	20	12,611
		平均入館回数	1.4	0.0	0.0	9.0
	総合情報学部	入 館 者 数	1,018	14,576	1,125	34
		平均入館回数	0.5	6.6	0.5	0.0
	社会安全学部	入 館 者 数	810	24	9,886	169
		平均入館回数	0.7	0.0	8.4	0.1
システム理工学部	入 館 者 数	30,071	2	16	1	
	平均入館回数	14.1	0.0	0.0	0.0	
環境都市工学部	入 館 者 数	18,271	0	182	25	
	平均入館回数	13.3	0.0	0.1	0.0	
化学生命工学部	入 館 者 数	30,202	1	19	76	
	平均入館回数	21.1	0.0	0.0	0.1	
学部合計		入 館 者 数	334,394	14,646	11,676	13,690
		平均入館回数	12.0	0.5	0.4	0.5
大学院学生		入 館 者 数	26,967	665	888	382
		平均入館回数	14.2	0.4	0.5	0.2
専任 教職員	大 学 教 員	入 館 者 数	4,606	336	243	206
		平均入館回数	6.2	0.4	0.3	0.3
	高 中 小 幼 教 諭	入 館 者 数	42	0	69	0
		平均入館回数	0.2	0.0	0.3	0.0
	事 務 職 員	入 館 者 数	1,464	174	78	9
		平均入館回数	2.9	0.3	0.2	0.0
上記を除く教職員		入 館 者 数	8,407	124	306	200

校 友	入 館 者 数	11,429	13	2,653	829
そ の 他	入 館 者 数	16,872	345	5,772	574
合 計	入 館 者 数	404,181	16,303	21,685	15,890

注1 平均入館回数は、入館者数を利用対象者数（2022年5月1日現在）で除した1人当たりの数値である。

注2 「その他」は地域市民、科目等履修生、聴講生、留学生別科、協定大学の専任教員・大学院学生、他機関からの利用者。

c 館別・月別・資格別入館者数および1日当たり平均入館回数

館名・資格		総 合 図 書 館						
月	学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計	日 平 均 月～土曜日	日 平 均 日曜・祝日
4	41,264	3,455	1,677	1,056	1,293	48,745	1,907.1	213.6
5	40,028	2,950	1,556	1,222	2,643	48,399	1,945.7	455.9
6	41,741	3,169	1,572	1,060	1,347	48,889	1,848.5	276.3
7	47,782	3,057	1,403	1,257	1,320	54,819	2,005.3	536.4
8	4,853	1,208	787	683	669	8,200	455.6	—
9	15,738	2,007	1,150	842	1,194	20,931	828.9	209.0
10	35,679	2,934	1,564	1,205	2,011	43,393	1,619.0	260.0
11	32,478	2,365	1,247	934	1,779	38,803	1,710.6	292.5
12	29,069	2,388	1,157	952	1,618	35,184	1,553.0	254.5
1	35,355	1,825	1,061	945	1,415	40,601	1,881.9	592.6
2	4,875	725	509	494	645	7,248	453.0	—
3	5,532	884	836	779	938	8,969	390.0	—
合 計	334,394	26,967	14,519	11,429	16,872	404,181	1,431.2	372.2
館名・資格		高 槻 キ ャ ン パ ス 図 書 館						
月	学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計	日 平 均 月～土曜日	日 平 均 日曜・祝日
4	2,544	69	74	4	31	2,722	108.9	—
5	2,168	58	65	4	34	2,329	101.3	—
6	1,922	76	74	2	36	2,110	81.2	—
7	2,003	64	55	2	30	2,154	82.8	—
8	69	17	24	0	16	126	7.9	—
9	833	74	46	0	21	974	44.3	—
10	1,595	84	66	1	40	1,786	68.7	—
11	1,185	64	74	0	32	1,355	61.6	—
12	1,059	65	61	0	31	1,216	55.3	—
1	1,173	52	45	0	26	1,296	64.8	—
2	46	20	23	0	21	110	5.2	—
3	49	22	27	0	27	125	5.4	—
合 計	14,646	665	634	13	345	16,303	59.9	—
館名・資格		ミ ュ ー ズ 大 学 図 書 館						
月	学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計	日 平 均 月～土曜日	日 平 均 日曜・祝日
4	1,445	122	74	376	631	2,648	105.9	—
5	1,503	52	67	333	577	2,532	110.1	—
6	1,706	49	87	236	537	2,615	100.6	—
7	1,921	99	80	334	608	3,042	117.0	—
8	133	44	29	167	307	680	42.5	—
9	482	59	64	152	511	1,268	57.6	—
10	1,112	108	66	194	576	2,056	79.1	—
11	967	102	49	204	470	1,792	81.5	—
12	796	97	51	215	481	1,640	74.5	—
1	1,225	79	61	135	321	1,821	91.1	—
2	209	39	34	146	334	762	36.3	—
3	177	38	34	161	419	829	36.0	—
合 計	11,676	888	696	2,653	5,772	21,685	79.7	—

月	堺キャンパス図書館							
	学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計	日平均 月～土曜日	日平均 日曜・祝日
4	1,481	47	44	86	81	1,739	69.6	—
5	1,461	30	58	110	70	1,729	75.2	—
6	1,613	50	51	74	60	1,848	71.1	—
7	1,932	31	35	82	73	2,153	82.8	—
8	232	13	14	30	26	315	19.7	—
9	759	34	30	55	30	908	41.3	—
10	1,484	41	45	116	52	1,738	66.8	—
11	1,500	34	47	95	50	1,726	78.5	—
12	1,269	45	46	53	48	1,461	66.4	—
1	1,522	27	30	58	37	1,674	83.7	—
2	219	17	10	29	7	282	13.4	—
3	218	13	5	41	40	317	13.8	—
合 計	13,690	382	415	829	574	15,890	58.4	—

注1 「その他」は地域市民、科目等履修生、聴講生、留学生別科、協定大学の専任教員・大学院学生、他機関からの利用者。

注2 「教職員」はb表から、「専任教職員」および「上記を除く教職員」を示す。

d 時期別・時間帯別総入館者数および1日当たり平均入館者数（総合図書館）

区 分	時間帯	9～10	10～11	11～12	12～13	13～14	14～15	15～16	16～17	17～18	18～19	19～20	20～21	21～22	合 計	
春 学 期	授業期間	総入館者	8,340	21,595	13,151	30,718	16,551	25,801	11,037	17,805	8,824	6,323	3,831	1,842	511	166,329
		1日平均	98.1	254.1	154.7	361.4	194.7	303.5	129.8	209.5	103.8	74.4	45.1	21.7	6.0	1956.8
	試験期間	総入館者	1,541	2,529	2,302	3,521	2,801	3,404	2,228	2,456	1,624	1,356	987	545	137	25,431
		1日平均	110.1	180.6	164.4	251.5	200.1	243.1	159.1	175.4	116.0	96.9	70.5	38.9	9.8	1816.5
	休暇期間	総入館者	/	2,025	1,415	1,836	2,288	2,185	1,726	1,760	1,082	565	286	/	/	15,168
		1日平均	/	57.9	40.4	52.5	65.4	62.4	49.3	50.3	30.9	16.1	8.2	/	/	433.4
	小 計	総入館者	9,881	26,149	16,868	36,075	21,640	31,390	14,991	22,021	11,530	8,244	5,104	2,387	648	206,928
		1日平均	73.7	195.1	125.9	269.2	161.5	234.3	111.9	164.3	86.0	61.5	38.1	17.8	4.8	1544.2

秋 学 期	授業期間	総入館者	5,749	14,950	10,255	24,901	14,734	21,961	10,706	15,929	8,640	5,804	3,733	1,829	639	139,830
		1日平均	67.6	175.9	120.6	293.0	173.3	258.4	126.0	187.4	101.6	68.3	43.9	21.5	7.5	1645.1
	試験期間	総入館者	1,383	2,371	2,243	3,687	2,808	3,909	2,456	2,601	1,840	1,378	980	548	116	26,320
		1日平均	98.8	169.4	160.2	263.4	200.6	279.2	175.4	185.8	131.4	98.4	70.0	39.1	8.3	1880.0
	休暇期間	総入館者	/	1,941	1,416	2,093	2,357	2,223	1,844	2,070	1,315	691	267	/	/	16,217
		1日平均	/	47.3	34.5	51.0	57.5	54.2	45.0	50.5	32.1	16.9	6.5	/	/	395.5
	小 計	総入館者	7,132	19,262	13,914	30,681	19,899	28,093	15,006	20,600	11,795	7,873	4,980	2,377	755	182,367
		1日平均	50.9	137.6	99.4	219.2	142.1	200.7	107.2	147.1	84.3	56.2	35.6	17.0	5.4	1302.6

日祝開館	総入館者	/	2,005	1,520	2,316	2,469	2,688	2,005	1,273	610	/	/	/	/	14,886
	1日平均	/	50.1	38.0	57.9	61.7	67.2	50.1	31.8	15.3	/	/	/	/	372.2

年度合計	総入館者	17,013	47,416	32,302	69,072	44,008	62,171	32,002	43,894	23,935	16,117	10,084	4,764	1,403	404,181
	1日平均	54.2	151.0	102.9	220.0	140.2	198.0	101.9	139.8	76.2	51.3	32.1	15.2	4.5	1287.2

注1 春学期 授業期間：4月5日～7月16日、試験期間：7月18日～8月2日

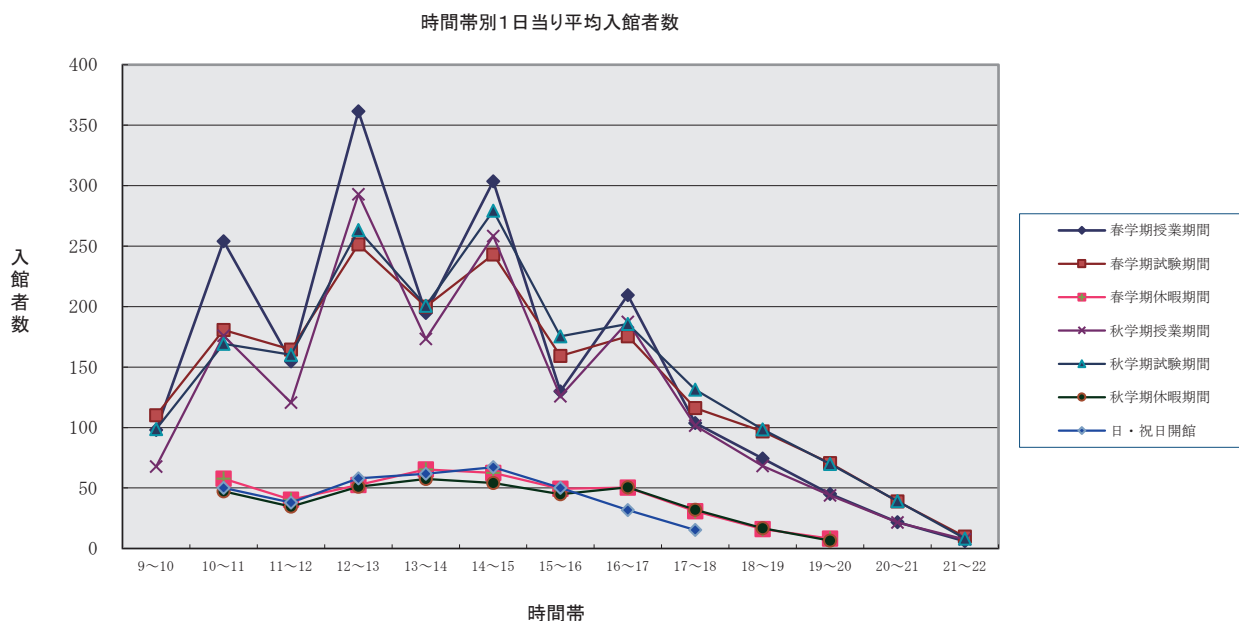
休暇期間：4月1日～2日・4日、8月3日～9月20日

秋学期 授業期間：9月21日～12月26日、1月7日～1月14日、試験期間：1月16日～1月31日

休暇期間：12月27日～1月6日、2月1日・3日・8日～3月31日

注2 試験期間とは、図書資料の貸出期間を3日間に短縮した日から試験終了日（予備日含む）までを示す。

(5)



e 過去5年間の地域市民の図書館利用申請者数（総合図書館・ミュージズ大学図書館・堺キャンパス図書館）

総合図書館	新規	再登録	合計	対象
2018年度	37	120	157	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2019年度	24	116	140	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2020年度	47	103	150	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2021年度	60	93	153	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2022年度	35	121	156	吹田市・池田市・八尾市の在住者

注1 2022年度の登録者数の内訳は、吹田市153名、池田市2名、八尾市1名

ミュージズ大学図書館	新規	再登録	合計	対象
2018年度	23	51	74	高槻市在住者
2019年度	20	64	84	高槻市在住者
2020年度	30	48	78	高槻市在住者
2021年度	25	59	84	高槻市在住者
2022年度	28	54	82	高槻市在住者

堺キャンパス図書館	新規	再登録	合計	対象
2018年度	8	6	14	堺市在住者
2019年度	8	8	16	堺市在住者
2020年度	12	11	23	堺市在住者
2021年度	14	11	25	堺市在住者
2022年度	13	16	29	堺市在住者

(2) 図書資料の利用に関する統計

a 館別・月別図書利用者数および利用冊数

利用者区分		月												合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総合	館内閲覧	学部学生	165	237	245	251	52	172	358	348	312	174	15	16	2,345
			234	351	362	360	92	251	582	548	516	248	26	22	3,592
		大学院学生	41	54	72	49	29	33	62	55	50	44	10	26	525
			61	81	137	80	49	60	100	109	77	82	17	40	893
		教職員	47	49	50	37	21	30	30	19	26	19	7	18	353
			73	123	91	79	29	78	41	35	44	30	20	36	679
	その他	86	92	73	100	101	82	105	105	93	82	58	68	1,045	
		157	194	171	237	239	218	250	298	229	199	142	126	2,460	
	計	339	432	440	437	203	317	555	527	481	319	90	128	4,268	
		525	749	761	756	409	607	973	990	866	559	205	224	7,624	
図書館	館外貸出	学部学生	4,517	5,931	6,584	5,979	1,283	2,848	6,221	5,917	5,979	4,358	618	541	50,776
			7,971	10,362	11,519	11,181	3,119	5,588	11,232	11,158	11,446	9,012	1,336	1,121	95,045
		大学院学生	1,516	1,389	1,430	1,256	631	961	1,370	1,150	1,107	829	319	346	12,304
			3,167	2,780	2,859	2,828	1,680	2,466	2,587	2,210	2,069	1,698	759	793	25,896
		教職員	1,040	969	901	817	527	761	958	846	748	708	345	546	9,166
			2,203	1,985	1,787	1,534	1,183	1,616	1,790	1,605	1,556	1,502	777	1,084	18,622
	その他	772	806	758	738	551	666	897	857	744	676	475	561	8,501	
		1,908	1,679	1,638	1,606	1,340	1,632	2,360	2,270	1,604	1,789	1,051	1,217	20,094	
	計	7,845	9,095	9,673	8,790	2,992	5,236	9,446	8,770	8,578	6,571	1,757	1,994	80,747	
		15,249	16,806	17,803	17,149	7,322	11,302	17,969	17,243	16,675	14,001	3,923	4,215	159,657	
	合計	8,184	9,527	10,113	9,227	3,195	5,553	10,001	9,297	9,059	6,890	1,847	2,122	85,015	
		15,774	17,555	18,564	17,905	7,731	11,909	18,942	18,233	17,541	14,560	4,128	4,439	167,281	
高槻キャンパス図書館	館内閲覧・館外貸出	学部学生	279	303	227	168	34	96	169	155	136	113	16	16	1,712
			489	505	357	264	114	189	307	262	263	280	50	23	3,103
		大学院学生	28	22	33	26	11	26	30	27	23	22	16	12	276
			47	35	47	38	24	50	56	39	35	55	28	15	469
		教職員	23	18	17	23	10	8	25	23	25	12	8	10	202
			58	33	33	70	37	15	52	53	52	34	18	38	493
	その他	19	14	16	14	13	13	19	22	13	19	24	22	208	
		21	17	41	71	20	40	33	48	18	29	55	30	423	
	計	349	357	293	231	68	143	243	227	197	166	64	60	2,398	
		615	590	478	443	195	294	448	402	368	398	151	106	4,488	
ミューズ大学図書館	館内閲覧・館外貸出	学部学生	137	145	178	151	28	57	134	103	107	196	29	15	1,280
			260	255	304	306	71	95	247	204	222	426	61	31	2,482
		大学院学生	36	19	25	28	14	21	25	22	25	10	19	15	259
			64	47	58	55	31	56	69	36	71	27	44	37	595
		教職員	33	26	31	21	19	17	22	18	25	23	14	8	257
			57	53	44	45	40	26	31	39	58	37	33	13	476
	その他	113	86	83	72	56	72	77	55	75	60	69	78	896	
		194	150	146	124	104	140	126	120	149	111	147	159	1,670	
	計	319	276	317	272	117	167	258	198	232	289	131	116	2,692	
		575	505	552	530	246	317	473	399	500	601	285	240	5,223	
堺キャンパス図書館	館内閲覧・館外貸出	学部学生	146	196	181	229	29	86	199	185	126	169	23	26	1,595
			253	372	353	438	78	199	381	391	281	358	36	42	3,182
		大学院学生	25	13	14	19	3	14	23	21	21	14	9	4	180
			67	32	22	35	3	34	58	52	59	24	22	9	417
		教職員	27	32	35	14	15	16	21	24	26	17	9	5	241
			56	47	74	37	35	40	34	47	65	51	16	5	507
	その他	48	44	59	50	31	40	32	34	39	24	20	38	459	
		97	101	154	111	77	105	48	89	79	46	57	90	1,054	
	計	246	285	289	312	78	156	275	264	212	224	61	73	2,475	
		473	552	603	621	193	378	521	579	484	479	131	146	5,160	

注1 館内閲覧・館外貸出ともに上段は利用者数、下段は利用冊数を示す。

注2 総合図書館の館内閲覧は、書庫図書の出納・取り寄せによる館内閲覧手続を行なったものを示す。

b 月別入庫検索者数（総合図書館）

利用区分		月												合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総合図書館	入庫検索	学部学生	425	567	549	397	157	400	632	591	624	354	71	85	4,852
	大学院学生	588	578	602	551	278	402	625	488	495	339	144	144	5,234	
	教職員	539	494	463	453	332	398	484	402	327	359	187	314	4,752	
	その他	47	39	44	40	25	47	69	66	25	25	27	39	493	
	計	1,599	1,678	1,658	1,441	792	1,247	1,810	1,547	1,471	1,077	429	582	15,331	

注1 入庫検索とは、図書館利用規程第13条による書庫図書の利用をいう。

注2 「その他」とは、特別の事由により入庫を許可された研究員等を示す。

c-1 グループ閲覧室の利用状況（総合図書館）

区分	月別												合計	月平均 (日・祝日を除く)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
利用コマ数	18	25	42	20	5	9	17	15	10	3	3	5	172	14.3
利用者数	136	174	438	75	18	29	116	141	100	9	9	13	1,258	104.8

注1 授業時間90分をコマ単位としている。

c-2 グループ閲覧室の利用目的（総合図書館）

申込件数	コマ数	実人数
授業目的	82	1,041
研究会利用	71	180
資料の閲覧	19	37
読書会	0	0
その他（落書き消しや撮影）	0	0
計	172	1,258

c-3 ラーニング・コモンズの利用状況（総合図書館）

ワーキング・エリア利用状況

区分	月別												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
利用件数	0	0	23	138	10	44	93	126	122	161	20	13	750
利用者数	0	0	96	431	25	129	291	410	378	523	66	53	2,402
一日あたりの利用者数	0.0	0.0	9.6	16.6	1.5	5.2	11.2	18.6	17.2	26.2	4.1	2.3	11.6

注1 コロナ対応に伴い、2022年4月1日～6月19日、利用停止。

ワークショップ・エリア利用状況

区分	月別												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
利用件数	23	35	19	2	1	2	18	7	1	3	0	0	111
利用者数	491	520	313	67	40	59	296	119	39	117	0	0	2,061

c-4 ラーニング・コモンズの利用目的（総合図書館）

ワーキング・エリア

利用目的	件数
授業関連・グループ学習	275
自主学習	413
卒業論文・修論準備	52
その他	1
計	741

ワークショップ・エリア

利用目的	件数
授業・ゼミ	11
その他	100

d-1 Webによるサービスの利用状況

サービス種別	件数
蔵書検索	2,132,404
予約申込	10,425
相互利用申込	1,699
購入希望申込	2,515

注1 購入希望はWeb以外に書類提出によるものもある。

d-2 Web機能の使用状況

web機能	件数
予約資料到着連絡	6,323
複写物到着連絡	818
借用本到着連絡	763
相互利用謝絶連絡	337
購入希望謝絶連絡	85
返却督促連絡(翌日)	14,207
返却督促連絡(2週間後)	3,041

注1 返却督促連絡(2週間後)の件数は、メールが発信されていない障害が解消した、5月10日以降の件数である。

e 文献複写サービス

(単位:枚)

種別		区分	総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミューズ大学図書館	堺キャンパス図書館	小計
電子式複写	モノクロ		266,648	15,518	3,435	1,428	287,029
	カラー		236	2,187	50	50	2,523
	マイクロ		5,169	0	0	0	5,169
	合計		272,053	17,705	3,485	1,478	294,721

注1 「モノクロ」はモノクロ複写とモノクロプリントアウトの合計枚数。

注2 「カラー」はカラー複写とカラープリントアウトの合計枚数。

f 図書館間相互利用件数

種別	国内								国外								
	提供				依頼				提供				依頼				
	閲覧	貸出	複写	合計	閲覧	借用	複写	合計	閲覧	貸出	複写	合計	閲覧	借用	複写	合計	
4月	15	46	125	186	0	24	174	198	0	0	0	0	0	0	0	5	5
5月	18	36	212	266	5	44	105	154	0	0	0	0	0	0	0	6	6
6月	16	57	216	289	10	36	137	183	0	1	1	2	0	0	0	4	4
7月	20	47	217	284	5	41	108	154	0	1	0	1	0	0	0	4	4
8月	27	40	180	247	4	32	166	202	0	2	3	5	0	0	0	8	8
9月	19	68	218	305	2	37	167	206	0	0	0	0	0	0	0	9	9
10月	28	43	223	294	5	32	144	181	0	0	0	0	0	0	0	2	2
11月	20	55	186	261	8	52	145	205	0	1	0	1	0	0	0	1	1
12月	16	45	202	263	3	42	131	176	0	0	0	0	0	0	0	11	11
1月	19	17	71	107	1	17	36	54	0	0	0	0	0	0	0	3	3
2月	17	39	106	162	11	15	104	130	0	0	6	6	1	0	0	2	3
3月	11	32	116	159	3	39	85	127	0	2	0	2	2	0	0	5	7
合計	226	525	2,072	2,823	57	411	1,502	1,970	0	7	10	17	3	0	0	60	63

注1 提供の貸出と複写、依頼の借用と複写の件数にはキャンセル件数を含む。

g 参考業務(総合図書館)

区分	学内利用者				学外利用者			合計	
	教職員	大学院学生	学部学生	その他	校友	諸機関	その他		
調査	所蔵	2	5	0	1	0	0	0	8
	事項	12	6	20	0	3	0	0	41
	その他	0	0	0	1	0	0	0	1
	計	14	11	20	2	3	0	0	50

注1 総合図書館における申込書の提出により処理した件数。

注2 学内利用者中の「その他」には、学内他部署からの業務上の問い合わせのほか、科目等履修生、聴講生、留学生別科生を含む。

h 利用指導

種別	区分	総合図書館			高槻キャンパス図書館			ミューズ大学図書館			堺キャンパス図書館		
		件数	クラス	人数	件数	クラス	人数	件数	クラス	人数	件数	クラス	人数
①	入門ガイダンス「蔵書検索を学ぼう」	104	104	1,913	3	3	47	10	10	274	1	1	4
②	活用ガイダンス「文献のさがし方を学ぼう」	95	106	1,400	2	2	33	3	11	278	3	3	31
③	上位年次生のための入庫ガイダンス	225	213	1,628	0	0	0	1	1	12	0	0	0

注1 件数は実施回数、クラス数は参加したクラス数、人数は参加者延べ数である。

注2 ①②はクラス・ゼミ・研究室対象。

注3 ③は各図書館で実施した総合図書館地下書庫ガイダンスで、クラス単位と個人単位の総数。

i 学内で閲覧利用できる電子ジャーナル

種 類	タイトル数 (端数が不明のものは概数)	種 類	タイトル数 (端数が不明のものは概数)
ACS (American Chemical Society)	66	RSC (Royal Society of Chemistry)	47
APS (American Physical Society)	11	SAGE Journal Online (SAGE IMechE 含む)	997
beck-online (大学パッケージプレミアム版)	146	OECD iLibrary Packages	959
CUP (Cambridge University Press)	408	SpringerLink e-Journal	2,240
Elsevier ScienceDirect	2,256	Taylor & Francis Journals	2,013
Emerald Management eJournal Portfolio	212	Wiley Online Library	1,594
IEL Online (IEEE/IET Electronic Library)	475	日経 BP 記事検索サービス	29
JSTOR (Arts & Sciences I)	116	その他	4,077
OUP (Oxford University Press)	265	合 計	15,911

j 過去5年間の文献・情報データベース検索回数

並び順は、和洋ごとのアルファベット順、50音順とする。

種 別	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	契約期間
1 CNKI (中国学術文献オンラインサービス)	—	—	4,165(4-12月)	7,176	7,122	2020年4月～
2 DI-Law.com_法律判例文献情報 *	2,306	2,381	1,557	1,531	1,397	2006年4月～
3 DBpia (人文社会パッケージ)	1,723	1,388	1,594	2,905	2,725	2014年4月～
4 eol (有価証券報告書を含む企業情報データベース)	118,368	128,343	1,046,051	172,797	55,125	2006年4月～
5 JCIF (国際金融情報センターオンラインサービス)	110	45	0(1-3月)	—	—	2006年4月～2020年3月
6 JDream III (科学技術文献データベース)	15,096	13,729	10,409	12,385	7,770	2004年～
7 KISS △	2,618	2,887	1,302	2,889	4,250	2008年8月～
8 LEX/DB インターネット (法律情報データベース) *	5,156	6,196	3,943	6,217	9,198	2003年4月～
9 MagazinePlus (和雑誌記事索引)	18,968	45,239	7,178	3,519	4,329	2003年～
10 Mpac (マーケティング情報サービス)	566	347	1(1-3月)	—	—	2007年10月～2020年3月
11 Super 法令web*	93	105	84	114	196	2011年7月～
12 朝日新聞クロスサーチ*	25,143	49,837	32,975	31,554	20,819	2006年10月～
13 医中誌Web	4,223	3,138	3,044	2,528	990	2014年4月～
14 大宅社一文庫雑誌記事索引 (Web OYA-bunko) *	256	322	34(1-3月)	—	—	2005年11月～2020年3月
15 化学書資料館	1,897	2,935	817(1-3月)	—	—	2007年4月～2020年3月
16 官報情報検索サービス▲	9	12	4	6	2(1-3月)	2006年4月～2022年3月
17 教保文庫スカラー	744	426	92(1-3月)	206(4-12月)	827	2014年4月～2020年3月 2021年4月～
18 公的判例集データベース*	349	346	175	275	382	2011年7月～
19 産経新聞データベース*	2,481	2,951	3,730	3,558	3,350	2014年4月～
20 新・判例解説Watch*	191	223	139	280	304	2011年7月～
21 ジャパンナレッジ Lib (百科事典データベース) △	44,541	39,020	82,886	122,387	196,256	2005年4月～
22 東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー△	—	—	51,907(4-12月)	59,694	47,114	2020年4月～
23 日経テレコン (日本経済新聞ビジネス情報データベース) ☆	1,814,449	3,005,849	1,778,746	1,549,821	1,518,273	2003年10月～
24 日経 NEEDS-Financial QUEST (地域統計) ★	33,457	1,353	1	5,900	2	2002年7月～
25 日本文学Web図書館 (和歌&俳諧ライブラリー) *	325	348	27(1-3月)	—	—	2013年4月～2020年3月
26 法律文献総合INDEX*	233	269	137	264	245	2011年7月～
27 毎索 (毎日新聞記事索引)	6,261	5,565	7,429	7,169	7,988	2005年4月～
28 山一証券株式会社第一期・オンライン版△ (2017～2019年)*(2021年～)	19	13	—	17	9(1-3月)	2014年4月～2022年3月
29 ヨミダス歴史館 (読売新聞記事索引)	10,527	16,560	25,489	27,509	33,728	2005年4月～
30 AFP World Academic Archive*	138	4(1-3月)	—	—	—	2014年4月～2019年3月
31 beck-online: プレミアム版 (ドイツ法情報データベース)	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	2007年4月～
32 Bibliography of British and Irish History*	13	2	0(1-3月)	—	—	2011年5月～2020年3月
33 Business Source Complete-EBSCOhost (ビジネス関連データベース)	7,177	4,577	2,444	5,610	2,141	2012年2月～
34 Chatham House Online Archive, Part 1: 1920-1979 (英国王立国際問題研究所)	88	13	6(1-3月)	—	—	2014年4月～2020年3月
35 Le Doctrinal △	—	—	1,015(4-12月)	—	45(7-12月)	2020年4月～
36 eBook Collection-EBSCOhost	8,825	4,866	1,873	4,012	1,504	2011年7月～
37 EconLit with Full Text-EBSCOhost	5,481	3,331	1,893	4,130	1,234	2012年2月～
38 The Economist Historical Archive 1843-2015	169	164	14(1-3月)	—	—	2012年7月～2020年3月
39 Factiva.com	4,309	7,006	11,901	5,847	—	2013年4月～
40 Frantext	計数されていない	計数されていない	—	—	—	2007年10月～2019年9月
41 Global Trade Atlas*	20	2(1-3月)	—	—	—	2014年4月～2019年3月
42 Hein Online	1,344	1,332	1,177	540	511	2012年～
43 ICPSR★	71	563	1,045	1,064	1,042	2005年4月～
44 The Illustrated London News Historical Archive 1842-2003	219	156	5(1-3月)	—	—	2013年4月～2020年3月
45 Integrum★	138	154	0(1-3月)	—	—	2013年4月～2020年3月
46 International Medieval Bibliography Online*	13	2	0(1-3月)	—	—	2011年5月～2020年3月

	種 別	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	契約期間
47	Journal Citation Reports	657	780	330	471	574	2010年4月～
48	JURIS Online (ドイツ法律情報データベース) ★	1,368	1,527	2,030	1,924	1,740	2004年10月～
49	Kuselit Online	計数されていない	計数されていない	計数されていない	—	—	2014年4月～2020年3月
50	LearnTechLib	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	2015年～
51	Lexis (旧 Lexis Advance) (法情報索引)	773	1,505	1,399	2,925	1,621	2003年～
52	Lexis360	—	—	276(4-12月)	301	399	2020年4月～
53	MathSciNet (数学文献データベース)	7,751	19,030	—	—	26,084(4-12月)	2006年11月～2019年12月 2022年4月～
54	MLA International Bibliography-EBSCOhost*	—	23,415(4-12月)	3,423(1-3月)	—	—	2011年4月～2020年3月
55	National Geographic Virtual Library △	—	—	153(4-12月)	283	193	2020年4月～
56	Nineteenth Century U.S. Newspapers	431	218	5(1-3月)	—	—	2014年4月～2020年3月
57	Oxford English Dictionary	469	361	108(1-3月)	—	—	2014年4月～2020年3月
58	ProQuest Basic Search (専門分野型データベース)	2,697	3,173	3,775	4,115	2,755	2003年11月～
59	ProQuest Congressional	10	65	53(1-3月)	—	—	2003年～2020年3月
60	ProQuest Historical Newspapers: Chinese Newspapers Collection, 1832-1953	—	—	2,877(4-12月)	3,660	2,467	2020年4月～
61	PsycARTICLES-EBSCOhost (心理学文献データベース)	6,349	4,147	2,038	2,037	2,547	2014年4月～
62	PsycINFO-EBSCOhost (心理学雑誌記事・文献索引)	6,284	4,151	378(1-3月)	1,841(4-12月)	2,528	2006年4月～2020年3月 2021年4月～
63	Regional Business News-EBSCOhost (地域ビジネス関連データベース)	4,363	2,908	1,510	3,586	1,095	2012年2月～
64	CAS SciFinder [®] (旧 SciFinder (化学情報データベース))	46,100	58,747	11,908(1-3月)	63,522	72,184	2003年～
65	The Times Digital Archive 1785-1985	739	172	10(1-3月)	—	—	2012年7月～2020年3月
66	Translation Studies Bibliography*	28	46(1-3月)	—	—	—	2012年4月～2019年3月
67	Wall Street Journal	—	—	74(4-12月)	192	119	2020年4月～
68	Web of Science (引用・被引用論文索引)	43,353	48,013	45,653	52,814	53,492	2001年8月～
69	Westlaw Next (法情報索引)	4,257	2,673	4,082	5,923	2,829	2003年～
70	World Bank e-Library	14	12(1-3月)	—	—	—	2014年4月～2019年3月
71	経葉デジタルライブラリ「週刊ダイヤモンド」デジタルアーカイブズ	4	0	0	3	49	2017年8月～
72	Business Archives Online (企業史料統合データベース) (J-DAC)	131	264	86	65	18	2013年4月～
73	全国商工会議所関係資料 (J-DAC)	0(12月)	48	92	9	164	2018年12月～
74	通産政策史資料 (J-DAC)	5	15	12	50	8	2015年1月～
75	都市問題と地方自治 (J-DAC)	—	0(12月)	9	17	2	2019年12月～
76	スポーツ産業史データベース (J-DAC)	4(10-12月)	1	0	1	3	2018年10月～
77	地方自治関係資料 (J-DAC)	1	3	0	16	0	2017年11月～
78	近現代史料データベース (J-DAC)	163	11	70	86	133	2016年12月～
79	近代文学作家自筆資料集 (J-DAC)	—	—	16(10-12月)	3	3	2020年10月～
80	鎌倉遺文 I (JKBooks) △	—	29(8-12月)	193	974	882	2019年8月～
81	鎌倉遺文 II (JKBooks) △	—	—	350(1-3月)	425	451	2020年1月～
82	群書類従 (正・続・続々) (JKBooks) △	274(4-12月)	746	1,507	848	469	2018年4月～
83	東洋経済新報/週刊東洋経済 デジタルアーカイブ 第1期 [大正期] (JKBooks) △	0(4-12月)	1	15	4	7	2018年4月～
84	18th Century House of Commons, Parliamentary Papers★	0	0	0	0	2	2013年4月～
85	19th & 20th Century House of Commons, Parliamentary Papers★	31	47	13	96	13	2009年～
86	Archives of Sexuality and Gender: LGBTQ History and Culture Since 1940, Parts I	—	—	—	—	9(2-12月)	2022年2月～
87	Cold War Voices of Confrontation and Conciliation	42(11-12月)	3	52	65	13	2018年11月～
88	Eighteenth Century Collections Online (ECCO1&2) ★	114	477	455	4	23	2013年4月～
89	Financial Times Historical Archive 1888-2016	—	—	—	—	34(2-12月)	2022年2月～
90	The Japan Times Archives	561	135	400	282	248	2015年4月～
91	Japan-U.S. Economic Relations Group Records, 1979-1981	61(7-12月)	3	54	65	14	2018年7月～
92	Journal of Fluid Mechanics Digital Archive 1956-1996 ★	—	—	139(2-12月)	59	89	2020年2月～
93	The Making of the Modern World, PART I & II (MOMW I&II) ★	13	6	12	24	13	2013年4月～
94	The Making of the Modern World, Part III (MOMW III)	—	—	40(1-3月)	46	9	2020年1月～

注1 統計算出方法について

- (1) 各統計は、1月～12月までの検索回数合計である。統計値については、データベース提供機関が独自の基準で計数した値をそのまま利用しているため、それぞれの統計値が必ずしも同じ算出方法であるとは限らない。
- (2) *はログイン回数、☆は結果表示件数、★はダウンロード件数、▲は利用申込者数を示す。
- (3) 表中の「—」は、当該年度が利用(統計上)開始前または利用提供終了(提供方法変更)後であること、または別の統計に含まれていること、取得不可のものを示す。
- (4) 2020年の統計値について、新型コロナウイルス感染症拡大に対する各出版社等の支援サービスにより、同時アクセス数が契約内容よりも増えたことと、大幅に検索回数等が増えているものがある。
- (5) 2021年、2022年の統計値について、新型コロナウイルス感染症拡大に対する授業支援として、オンライン授業において必要な新聞データベース等の同時アクセス数が追加されたため、大幅に検索回数等が増えているものがある。該当タイトルについては、以下のとおり。日経テレコン(20→50)、朝日新聞クロスサーチ(4→5)、ヨミダス歴史館(2→5)、毎索(2→5)、産経新聞データベース(2→4)、ジャパンレヅジ Lib(4→無制限)。

注2 各データベースに係る注記

- 1 図書館、経済政治研究所及び法学研究所で契約している5分野すべての利用状況。
- 4 図書館及び会計研究科での利用状況。
- 12 2022年9月より、聞蔵Ⅱから朝日新聞クロスサーチへ名称変更されたことに伴い、新旧バージョンの合算統計値を計数している。
- 19 2018年4月より、オンライン記事検索サービスの名称が、The Sankei Archives から産経新聞データベースへ変更された。

- 21 80・81の鎌倉遺文Ⅰ・Ⅱの統計値を除くため、2019年より計数方法を変更し、ページビュー数を計数することとした。なお、2020年度よりプラットフォーム「ジャパンナレッジ Lib」の同時アクセス数が新たに2アクセス追加され同時アクセス数が合計4に、2021年度より同時アクセス数無制限となっている。
- 22 2021年統計値は、79,590ではなく59,694が正しいものとなる。
- 28 2020年統計値は、出版社のデータ取得方法変更に伴う不具合発生により取得不可となった。2021年度は統計値は、システム改修に伴いログイン数を計数している。
- 35 2021年度に統計データ提供元が変更となったが、旧提供元でデータのバックアップがとれておらず、2021年度は利用統計の提供が不可となった。2022年より Doctrinal Plus から Le Doctrinal へ名称変更され、2022年1月～6月の利用統計値は、提供元の都合により取得不可となった。また、取得方法が変更となり、検索回数からページビューへ変更することとした。
- 39 2022年統計値は、出版社の統計システムの不具合発生により取得不可となった。
- 42 World Constitutions Illustrated, U.S.Federal Agency Documents, Decisions, and Appeals, History of International Law を含む。
- 48 統計値には、文書取出件数(文書〈全文・要約・抄録等〉の閲覧件数)を計上している。
- 51 2020年10月より、Lexis Advance から Lexis へ名称変更した。
- 54 2018年～2019年3月までの統計は59に含まれる。2019年4月以降は出版社が変更となり、個別にログイン数を計数している。
- 55 プラットフォーム変更に伴い2020年4月からの計数を検索回数からページビュー数へ変更することとした。
- 58 ERIC, LISA (2020年3月まで)、LLBA (2020年3月まで)、Worldwide Political Science Abstracts (2020年3月まで)、Sociological Abstracts、PTSDpubs, Social Services Abstracts, Entertainment Industry Magazine Archive (2020年3月まで)、Music Periodicals Database, MLA International Bibliography (2019年3月まで)が含まれる。また、2014年4月より ProQuest Dissertations & Theses Global (2020年3月まで)、ProQuest Historical Annual Reportsが含まれる。
- 64 2020年4月から新しいバージョンのSciFinder-nが利用できることとなったが、出版元が利用統計を提供しない方針だったため、2020年4～12月は統計取得不可となった。したがって、従来のSciFinderのみの統計を計数している。なお、2021年1月より検索数が提供されることになった。ただし、バージョンアップに伴い過去の数値と単純比較はできない(版元情報)。
- 68 2021年7月7日のインターフェース変更に伴い、新旧バージョンの合算統計値を計数している。
- 80・81 ジャパンナレッジ Lib のプラットフォームを使用しているが、ページビュー数であれば個別の統計値が取得できるため、2019年より計数方法を変更し個別に掲載する。
- 86・89 2021年度に買い切り資料として購入したタイトルについて、新たに統計対象とする。
- 90 2019年以降の統計は、「幕末期」も含まれる。

k リポジトリ登録件数・アクセス数・ダウンロード数の推移

	2020年度	2021年度	2022年度
登録件数(累計)	18,900	22,173	24,025
アクセス数	370,956	584,620	506,628
ダウンロード数	869,074	1,370,391	1,550,695

注1 アクセス数は学術リポジトリサイトの書誌情報の閲覧数である。

コンテンツのダウンロード数には外部サイトからの直接アクセスを含む。

注2 2020年度の登録件数(累計)は、18,843ではなく18,900が正しいものとなる。

1 過去5年間の資料電子化の推移

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
内容	源氏物語他 231点	源氏物語他 78点	源氏物語他 190点	賀茂翁家集他 118点	酒神餅神鬼殺心角樽他 180点
画像数	35,179	25,852	19,535	10,182	15,280

m キャンパス間相互利用件数(予約取寄せ)

		提供冊数(受付館)				合計
		総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミューズ大学図書館	堺キャンパス図書館	
受入冊数 (依頼館)	総合図書館		1,211	701	1,347	3,259
	高槻キャンパス図書館	812		42	58	912
	ミューズ大学図書館	1,197	102		115	1,414
	堺キャンパス図書館	547	41	30		618
	合計	2,556	1,354	773	1,520	6,203

n 利用者用パソコン設置台数

総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミューズ大学図書館	堺キャンパス図書館	合計
100	9	10	12	131

(3) 蔵書に関する統計

① 収書状況

a 図書資料の所蔵数（2022年度末現在）

区 分	種 別		図書の冊数（冊）		定期刊行物の種類数		視聴覚資料 の所蔵数 (点数)	電子ジャー ナルの種類 (点数)	電子書籍 (点数)
	図書の冊数	開架図書の 冊数(内数)	内国書	外国書					
総合図書館	2,222,418	232,900	15,219 (1,759)	8,833 (637)	124,713	15,911	11,988		
高槻キャンパス図書館	61,352	61,352	274 (136)	246 (43)	508	—	—		
ミューズ大学図書館	50,932	50,932	413 (141)	73 (13)	253	—	—		
堺キャンパス図書館	54,645	54,645	193 (131)	46 (22)	195	—	—		
法学部資料室	32,962	32,962	1031 (349)	50 (10)	86	1	0		
経商資料室	33,337	33,337	687 (363)	228 (25)	0	1	0		
社会学部資料室	29,762	29,762	1200 (247)	48 (7)	373	0	0		
法科大学院ロー・ライブラリー	10,517	10,517	68 (68)	0 (0)	0	0	0		
会計専門職大学院図書資料室	1,258	1,258	7 (7)	0 (0)	0	0	0		
東西学術研究所	19,151	0	778 (134)	144 (9)	121	0	1		
経済・政治研究所	20,104	0	51 (48)	1 (1)	0	2	0		
法学研究所	15,983	0	55 (55)	0 (0)	0	1	0		
人権問題研究室	25,691	22,414	65 (65)	0 (0)	169	0	0		
計	2,578,112	530,079	20,041 (3,503)	9,669 (767)	126,418	15,916	11,989		

注1 図書の冊数には、製本した雑誌等逐次刊行物を含む。

注2 視聴覚資料は、マイクロフィルム、マイクロフィッシュが大半を占め、カセットテープ、ビデオテープおよびCD-ROM・DVD-ROM等を含み、図書の冊数の内数である。

注3 定期刊行物の種類数には電子ジャーナルの種類数は含んでいない。下段（ ）は内数で、継続して受け入れている種類数。

注4 総合図書館と各キャンパス図書館の電子ジャーナルの種類数は延べ数で、総合図書館で集中管理をしている。

b 過去5年間の図書の受入数

(単位：冊)

館名 \ 年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
総合図書館	20,821	20,016	19,004	19,828	18,007
高槻キャンパス図書館	1,579	1,521	1,923	1,442	1,452
ミューズ大学図書館	1,417	1,560	1,552	1,351	1,303
堺キャンパス図書館	1,896	1,967	2,167	1,631	1,598
計	25,713	25,064	24,646	24,252	22,360

注1 製本した雑誌等逐次刊行物を含む。

c 図書資料異動状況

(単位：点)

区分 \ 種別	和書	洋書	マイクロ資料		その他	合計	
			フィルム	フィッシュ			
取得内訳	購入	16,580	1,882	116	0	48	18,626
	受贈	799	32	0	0	0	831
	その他	1,741	1,050	72	0	40	2,903
	合計	19,120	2,964	188	0	88	22,360
除籍抹消	6,777	335	0	0	0	7,112	
増減計	12,343	2,629	188	0	88	15,248	
期末在高	1,432,095	828,049	96,746	24,168	8,289	2,389,347	

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

注2 「種別」の「その他」はAV資料、CD-ROM、DVD-ROM等の資料を含む。

d 雑誌・新聞受入種類数

区分 \ 種別	雑誌・新聞			
	和	洋	合計	
取得内訳	購入	1,354	659	2,013
	受贈	757	33	790
	その他	56	23	79
	合計	2,167	715	2,882

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

② 分類別所蔵図書冊数（日本十進分類法による）

分類	内 訳	和	洋	合 計
000	総記	16,155	12,165	28,320
010	図書館, 図書館情報学	7,020	4,678	11,698
020	図書, 書誌学	17,985	14,663	32,648
030	百科事典, 用語索引	3,579	3,981	7,560
040	一般論文集, 一般講演集, 雑著	18,660	1,595	20,255
050	逐次刊行物, 一般年鑑	23,827	8,092	31,919
060	団体, 博物館	1,395	480	1,875
070	ジャーナリズム, 新聞	17,914	7,563	25,477
080	叢書, 全集, 選集	57,169	18,010	75,179
090	貴重書, 郷土資料, その他の特別コレクション	1,253	2,338	3,591
	総記・計	164,957	73,565	238,522
100	哲学	4,258	5,564	9,822
110	哲学各論	2,636	3,980	6,616
120	東洋思想	19,512	765	20,277
130	西洋哲学	8,118	20,448	28,566
140	心理学	14,087	15,807	29,894
150	倫理学, 道徳	4,112	1,515	5,627
160	宗教	6,177	4,396	10,573
170	神道	2,688	56	2,744
180	仏教	16,377	1,917	18,294
190	キリスト教, ユダヤ教	6,599	9,075	15,674
	哲学・計	84,564	63,523	148,087
200	歴史, 世界史, 文化史	6,946	10,773	17,719
210	日本史	54,021	1,229	55,250
220	アジア史, 東洋史	35,156	5,296	40,452
230	ヨーロッパ史, 西洋史	5,559	17,862	23,421
240	アフリカ史	328	1,603	1,931
250	北アメリカ史	792	2,813	3,605
260	南アメリカ史	96	96	192
270	オセアニア史, 両極地方史	100	167	267
280	伝記	23,013	7,168	30,181
290	地理, 地誌, 紀行	30,739	6,777	37,516
	歴史・計	156,750	53,784	210,534
300	社会科学	13,902	8,248	22,150
310	政治	43,698	49,542	93,240
320	法律	64,566	90,935	155,501
330	経済	92,139	95,697	187,836
340	財政	8,269	6,984	15,253
350	統計	9,431	5,870	15,301
360	社会	65,555	53,558	119,113
370	教育	50,819	13,985	64,804
380	風俗習慣, 民俗学, 民族学	18,211	4,533	22,744
390	国防, 軍事	4,170	1,480	5,650
	社会科学・計	370,760	330,832	701,592
400	自然科学	7,954	8,872	16,826
410	数学	10,457	15,111	25,568
420	物理学	6,062	15,194	21,256
430	化学	6,327	13,099	19,426
440	天文学, 宇宙科学	2,446	1,038	3,484
450	地球科学, 地学	7,513	4,298	11,811
460	生物科学, 一般生物学	6,576	8,623	15,199
470	植物学	1,297	229	1,526
480	動物学	2,466	495	2,961
490	医学, 薬学	26,080	10,874	36,954
	自然科学・計	77,178	77,833	155,011
500	技術, 工学	16,163	22,053	38,216
510	建設工学, 土木工学	19,561	12,341	31,902
520	建築学	16,127	6,283	22,410
530	機械工学, 原子力工学	10,660	8,921	19,581
540	電気工学	23,957	16,219	40,176
550	海洋工学, 船舶工学, 兵器, 軍事工学	1,538	383	1,921
560	金属工学, 鉱山工学	5,934	6,291	12,225
570	化学工業	7,207	6,955	14,162
580	製造工業	4,707	1,494	6,201
590	家政学, 生活科学	1,899	423	2,322
	技術・計	107,753	81,363	189,116

分類	内 訳	和	洋	合 計
600	産業	5,529	416	5,945
610	農業	12,783	4,391	17,174
620	園芸, 造園	1,271	224	1,495
630	蚕糸業	236	1	237
640	畜産業, 獣医学	1,004	150	1,154
650	林業, 狩猟	1,490	244	1,734
660	水産業	1,807	283	2,090
670	商業	17,675	14,718	32,393
680	運輸, 交通, 観光事業	10,019	7,235	17,254
690	通信事業	3,517	2,404	5,921
	産業・計	55,331	30,066	85,397
700	芸術, 美術	14,499	6,707	21,206
710	彫刻, オブジェ	1,032	301	1,333
720	絵画, 書, 書道	18,292	4,042	22,334
730	版画, 印章, 篆刻, 印譜	882	373	1,255
740	写真, 印刷	2,116	518	2,634
750	工芸	4,379	1,397	5,776
760	音楽, 舞踏, バレエ	6,827	1,726	8,553
770	演劇, 映画, 大衆芸能	15,929	3,919	19,848
780	スポーツ, 体育	10,556	3,169	13,725
790	諸芸, 娯楽	1,910	240	2,150
	芸術・計	76,422	22,392	98,814
800	言語	5,178	16,235	21,413
810	日本語	11,588	307	11,895
820	中国語, その他の東洋諸言語	10,525	1,168	11,693
830	英語	7,007	11,290	18,297
840	ドイツ語, その他のゲルマン諸語	1,076	4,499	5,575
850	フランス語, プロバンス語	1,078	3,159	4,237
860	スペイン語, ポルトガル語	495	577	1,072
870	イタリア語, その他のロマンス諸語	141	408	549
880	ロシア語, その他のスラブ諸語	408	1,354	1,762
890	その他の諸言語	436	972	1,408
	言語・計	37,932	39,969	77,901
900	文学	12,782	11,063	23,845
910	日本文学	102,297	1,640	103,937
920	中国文学, その他の東洋文学	31,461	810	32,271
930	英米文学	8,792	26,087	34,879
940	ドイツ文学, その他のゲルマン文学	3,410	13,571	16,981
950	フランス文学, プロバンス文学	4,732	12,706	17,438
960	スペイン文学, ポルトガル文学	1,622	10,889	12,511
970	イタリア文学, その他のロマンス文学	514	573	1,087
980	ロシア・ソビエト文学, その他のスラブ文学	1,923	3,204	5,127
990	その他の諸言語文学	528	1,539	2,067
	文学・計	168,061	82,082	250,143
	合 計	1,299,708	855,409	2,155,117
	その他			234,230
	図書館蔵書数			2,389,347

- 注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。
 注2 2014年度にミューズ大学図書館および堺キャンパス図書館から移管を受けた資料を含む。
 注3 「その他」は、個人文庫などの未分類図書を表す。
 注4 分類名称は新訂10版による。

③ 分類別所蔵雑誌種類数（日本十進分類法による）

分類	内 訳	和	洋	合 計
000	総 記	4,800	979	5,779
100	哲 学	493	527	1,020
200	歴 史	854	339	1,193
300	社 会 学	4,036	3,548	7,584
400	自 然 学	749	935	1,684
500	技 術	1,725	1,622	3,347
600	産 業	683	361	1,044
700	芸 術	836	170	1,006
800	言 語	264	267	531
900	文 学	1,649	449	2,098
	そ の 他	10	1	11
	合 計	16,099	9,198	25,297

- 注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。
 注2 2014年度にミューズ大学図書館および堺キャンパス図書館から移管を受けた資料を含む。
 注3 重複するタイトルは、カウントしていない。

④ 分類別冊数と分類別冊数の全体に占める割合

a 分類別冊数

年度		2022 年度			
分類	館名	総合図書館	高槻キャンパス 図書館	ミューズ大学 図書館	堺キャンパス 図書館
000 総記		222,089	11,912	3,032	1,489
100 哲学		136,757	3,479	2,519	5,332
200 歴史		202,608	2,488	2,411	3,027
300 社会科学		645,392	19,108	17,852	19,240
400 自然科学		134,577	5,312	8,453	6,669
500 技術		174,397	5,756	7,913	1,050
600 産業		79,487	2,554	2,611	745
700 芸術		86,253	2,720	1,289	8,552
800 言語		68,453	5,207	2,065	2,176
900 文学		238,175	2,816	2,787	6,365
その他		234,230	0	0	0
合計		2,222,418	61,352	50,932	54,645

注1 総合図書館の蔵書のうち「その他」は、貴重書や特別コレクション・書状など十進分類法になじまないもの。

注2 2017年度から「その他」は、4キャンパス図書館ごとに算出することとした。

b 分類別冊数の全体に占める割合

年度		2022 年度			
分類	館名	総合図書館	高槻キャンパス 図書館	ミューズ大学 図書館	堺キャンパス 図書館
000 総記		10%	19%	6%	3%
100 哲学		6%	6%	5%	10%
200 歴史		9%	4%	5%	6%
300 社会科学		28%	32%	34%	34%
400 自然科学		6%	9%	17%	12%
500 技術		8%	9%	16%	2%
600 産業		4%	4%	5%	1%
700 芸術		4%	4%	3%	16%
800 言語		3%	8%	4%	4%
900 文学		11%	5%	5%	12%
その他		11%	0%	0%	0%
合計		100%	100%	100%	100%

⑤ 過去5年間の図書館資料費執行額

(単位：円)

		2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
図書	和	84,288,861	83,701,578	82,100,097	83,168,360	87,744,327
	洋	71,552,046	67,391,716	72,617,188	71,686,744	40,634,295
雑誌	和	32,401,608	28,552,190	26,869,675	26,583,086	26,667,388
	洋	348,152,804	355,108,041	359,138,162	358,823,377	367,965,670
電子媒体		2,233,737	1,605,997	1,225,125	1,482,679	1,242,186
マイクロ資料	和	7,318,080	3,333,456	1,785,520	5,045,792	4,932,492
	洋	0	0	0	1,188,000	0
その他の資料		27,649,781	37,072,965	35,469,179	30,534,334	58,552,582
外部データベース		90,371,348	86,242,698	76,512,849	77,385,967	74,223,251
合計		663,968,265	663,008,641	655,717,795	655,898,339	661,962,191
製本費		6,959,015	6,579,734	5,738,810	7,983,668	6,011,665

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

注2 「図書」には電子書籍を含む。

注3 「雑誌」には電子ジャーナルを含む。

注4 「電子媒体」にはCD-ROM、DVD-ROM等を含む。

注5 「その他の資料」には、追録、AV資料を含む。

⑥ 過去5年間の電子資料に係る経費執行額

(単位：円)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
電子ジャーナル経費執行額	278,621,627	282,533,596	286,730,735	288,089,970	297,815,838
データベース経費執行額	90,371,348	86,242,698	76,512,849	77,385,967	74,223,251
電子書籍経費執行額	16,201,226	25,577,065	28,131,304	21,925,571	43,099,135
合計	385,194,201	394,353,359	391,374,888	387,401,508	415,330,127

注1 「電子書籍経費執行額」は、図書費として予算執行する資料（買い切り製品のデータベース及び電子で刊行される雑誌バックナンバー）の経費を含む。

(4) その他関連統計等

a 過去5年間の図書館職員

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
専任職員 〔人数〕	18	18	19	20	22
定時職員 〔総勤務時間〕	11,750	12,700	11,750	12,700	12,700
備考	収書担当業務に3名、システム担当業務に1名、庶務担当業務に1名計5名の「派遣職員」を雇用。	収書担当業務に3名、システム担当業務に1名、庶務担当業務に1名計5名の「派遣職員」を雇用。	収書担当業務に3名、システム担当業務に1名、庶務担当業務に1名計5名の「派遣職員」を雇用。	収書担当業務に3名、システム担当業務に1名、庶務担当業務に1名計5名の「派遣職員」を雇用。	収書担当業務に3名、庶務担当業務に1名計4名の「派遣職員」を採用。

注1 定時職員は各人の勤務時間数が異なり、人数での比較が困難なため総予算時間数を記載した。

注2 4月1日現在の職員数を示す。

b 学生の閲覧座席数（2023年4月1日現在）

館名	学生閲覧室 座席数 (A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対する 座席数の割合 A/B*100 (%)	その他の学習 室の座席数	備考 【学生収容定員内訳】
総合図書館	2,052	23,514	8.73	—	(千里山キャンパス) ① 学部 21,668名 ② 大学院 1,846名
高槻キャンパス図書館	235	2,214	10.61	—	(高槻キャンパス) ① 学部 2,090名 ② 大学院 124名
ミューズ大学図書館	134	1,145	11.70	—	(高槻ミューズキャンパス) ① 学部 1,100名 ② 大学院 45名
堺キャンパス図書館	272	1,352	20.12	—	(堺キャンパス) ① 学部 1,320名 ② 大学院 32名
計	2,693	28,225	9.54	—	① 学部 26,178名 ② 大学院 2,047名

c 10年間の展示会テーマと会期

年 度		展示のテーマと講演会の演題	会 期
2013年度	特別展	「なにわユーモア画譜」 展特別企画としての「プレ展覧会 春爛漫コレクション」	2013年4月1日(月)～4月8日(月)
		大正癸丑蘭亭会百周年（おおさか）記念行事	2013年4月1日(月)～5月19日(日) (総合図書館第一会議室及び展示室)
	EUi 企画	日・EU フレンドシップウィーク展示 「EU 諸国の言語に翻訳された日本の小説」	2013年6月3日(月)～6月14日(金)
2014年度	図書館・博物館 連携企画展	関西大学名品万華鏡 一館館選イチョシ！ (於：関西大学博物館)	2014年4月1日(火)～5月18日(日)
	関西大学図書館 創設100周年 記念展示	関西大学図書館100年のあゆみ展	2014年4月1日(火)～5月18日(日)
	EUi 企画	日・EU フレンドシップウィーク展示「アナザー・ワールド」	2014年6月30日(月)～7月14日(月)
	関西大学創立 130周年記念展示	科学と芸術 一著名院士学者書法展—	2015年3月27日(金)～4月23日(木)
2015年度	EUi 企画	日・EU フレンドシップウィーク展示「EUのMultilingualism」	2015年5月8日(金)～5月24日(日)
2016年度	EUi 企画	日・EU フレンドシップウィーク展示「ヨーロッパのカフェと文学」	2016年5月12日(木)～5月26日(木)
2017年度		実施せず	
2018年度	記念展示	「石濱純太郎とその学問・人脈」展	2018年10月22日(月)～11月17日(土)
2019年度	特別展示	新元号「令和」の出典である『万葉集』	2019年4月4日(木)～4月24日(水)
		新元号「令和」ゆかりの資料 ～『万葉集』『文選』『和漢朗詠集』を中心に～	2019年5月12日(日)～6月30日(日)
	企画展示	平成 —11,070days—	2019年5月12日(日)～8月2日(金) (於：総合図書館2階開架カウンター前)
企画展「わたしたちは世界を変えられる」		2019年9月21日(土)～2020年1月30日(木) (於：総合図書館2階開架カウンター前)	
		SDGs パネル展「パートナーシップでつくる私たちの世界」	2019年11月16日(土)～12月6日(金)
2020年度	企画展示	企画展「知りたい！」が未来をつくる 「知りたい！」で世界をひろげる「科学道100冊」	2020年3月25日(水)～2020年7月22日(水) (於：総合図書館2階開架カウンター前)
		企画展「わたしたちは世界を変えられる Sustainable Development Goals」	2020年4月1日(水)～2021年3月22日(金) (於：総合図書館2階開架カウンター前)
		企画展「向きあう、広がる、新学期」	2020年9月21日(月)～2021年1月30日(土) (於：総合図書館2階開架カウンター前)
2021年度	企画展示	企画展「日日は好日 365日、今日を生きよう」	2021年4月1日(水)～2021年7月31日(土) (於：総合図書館2階開架カウンター前)
		小展示「SDGs 教員推薦図書」	2021年6月1日(火)～2021年8月31日(火) 2021年12月1日(水)～2022年2月28日(月) (於：総合図書館2階開架カウンター前)
		すいたクールアースウィークコラボレーションブースの展示	2021年9月18日(土)～11月14日(日) (於：総合図書館1階北側入口スペース・2階開架カウンター前)
		小展示「地球をゴミ箱にはしてはいけない」	2021年10月9日(土)～2021年11月30日(火) (於：総合図書館2階開架カウンター前)
		企画展「考える。大阪・関西万博×SDGs」	第一期「大阪の課題」 2021年10月9日(土)～11月30日(火) 第二期「大阪の強み」 2021年12月1日(水)～2022年1月31日(月) (於：総合図書館2階開架カウンター前)
		高槻キャンパス図書館 企画展 コミュニケーション力を磨こう！	2021年4月～6月
		高槻キャンパス図書館 企画展 手軽にアクセス！電子書籍	2021年7月～9月
		高槻キャンパス図書館 企画展 科学にまつわるエトセトラ	2021年10月～12月
		高槻キャンパス図書館 企画展 心と体を整える	2022年1月～3月
		ミューズ大学図書館 企画展 読書旅	2021年4月～6月
		ミューズ大学図書館 企画展 水の災厄	2021年7月～9月
		ミューズ大学図書館 企画展 テロの脅威	2021年10月～12月

年 度	展示のテーマと講演会の演題		会 期
2021 年度	企画展示	ミュージズ大学図書館 企画展 ライフスタイルの多様化 ―さまざまな住居・さまざまな家族―	2022 年 1 月～ 3 月
		堺キャンパス図書館 企画展 原作を読んでみよう!! ―映画編―	2021 年 4 月～ 6 月
		堺キャンパス図書館 企画展 Enjoy Training!!	2021 年 7 月～ 9 月
		堺キャンパス図書館 企画展 ダイバーシティ & インクルージョン	2021 年 10 月～ 12 月
		堺キャンパス図書館 企画展 ココロとカラダの不思議	2022 年 1 月～ 3 月
2022 年度	企画展示	小展示「想像からはじめる SDGs」	2022 年 4 月 1 日(金)～ 2022 年 6 月 30 日(木) (於: 総合図書館 2 階開架カウンター前)
		全館巡回企画展 スタッフがおすすめする「今のあなた」に読んでほしい本!	2022 年 4 月 5 日(火)～ 2023 年 1 月 31 日(火) (於: 総合図書館 2 階開架・高槻キャンパス図書館・ミュージズ大学図書館・堺キャンパス図書館)
		すいたクールアースウィークコラボレーションブースの展示	2022 年 9 月 27 日(火)～ 11 月 30 日(木) (於: 総合図書館 2 階開架カウンター前)
		SDGs 教員推薦図書の展示	2022 年 10 月 1 日(土)～ 2023 年 1 月 31 日(火) (於: 総合図書館 2 階開架カウンター前)
		吹田市下水道部パネル展示「知ってますか? 下水道」	2022 年 11 月 21 日(月)～ 12 月 5 日(月) (於: 総合図書館 2 階開架カウンター前)
		小展示「SDGs めがね」	2022 年 12 月 12 日(月)～ 2023 年 1 月 31 日(火) (於: 総合図書館 2 階開架カウンター前)
		高槻キャンパス図書館 企画展 百年史～関西大学と文学のあゆみ～	2022 年 4 月～ 6 月
		高槻キャンパス図書館 企画展 聞く・話す・伝える	2022 年 7 月～ 9 月
		高槻キャンパス図書館 企画展 メディアが繋ぐ情報	2023 年 1 月～ 3 月
		ミュージズ大学図書館 企画展 世界へ!	2022 年 4 月～ 6 月
		ミュージズ大学図書館 企画展 お金の世界	2022 年 7 月～ 9 月
		ミュージズ大学図書館 企画展 これって依存症?	2022 年 10 月～ 12 月
		ミュージズ大学図書館 企画展 貧困	2023 年 1 月～ 3 月
		堺キャンパス図書館 企画展 TO THE FUTURE ～これからの社会 これからの自分～	2022 年 4 月～ 6 月
		堺キャンパス図書館 企画展 バリアフリー&ユニバーサル	2022 年 7 月～ 9 月
		堺キャンパス図書館 企画展 Let's play sports ―子どもたちといっしょに―	2022 年 10 月～ 12 月
		堺キャンパス図書館 企画展 身近な社会問題	2023 年 1 月～ 3 月

注 1 総合図書館の展示会のうち場所を示していない場合は、総合図書館展示室において開催した。

d 資料の出陳・放映（学外からの依頼分）

依頼機関	展示会・番組等の名称	会期・放映日	掲載・借用依頼資料	請求記号
福田美術館	松尾芭蕉 直筆 《野ざらし紀行図巻》先行記者発表会	2022 年 5 月 24 日(火)	芭蕉: 蕪村	L24*910.2*1820*14
株式会社テレビ朝日	帰れマンデー見っけ隊!!	2022 年 8 月 8 日(月) 19:00～20:30	伊勢物語 2 巻	N8*913.32*503
三重県立美術館	開館 40 周年記念 「岡田米山人と半江展」	2022 年 9 月 23 日(金・祝) ～ 11 月 6 日(日)	山水図巻	C2*721.7*O6*3
			浪華画人組合三幅対	LO2*721**2
			竹田荘師友畫録, 上下巻	*721.028*T1*1
			良山堂茶話	*914.5*A4*1-1
吹田市立博物館	令和 4 年度 (2022 年度) 秋季特別展 「神崎川展―川港・吹田のものがたり―」	2022 年 9 月 23 日(金・祝) ～ 10 月 30 日(日)	浪花及澁川沿岸名勝図巻	C2*721.4*O1*1
			大坂府下洪水澁川沿岸被害詳細図	H*369.33*A1*1
AKITA メディアテクノロジーズ 株式会社	秋田人物伝～内藤湖南～	2022 年 9 月 24 日(土) 15:00～15:55	趙无補寿華甲詩直幅	L21**6*9
			傅沅叔摹錢竹汀小象	L21**6*18
			[内藤文庫各種資料] 17 湖南宛書簡 8021～8212, 8216 ～8217, 8221～8224, 8226～8232	L21**7*17-21

依頼機関	展示会・番組等の名称	会期・放映日	掲載・借用依頼資料	請求記号
AKITA メディアテクノロジーズ 株式会社	秋田人物伝～内藤湖南～	2022年9月24日(土) 15:00～15:55	支那論	L21**5*573
			章実斎先生年譜	L21**1*976
			航欧集	L21**4*1203-1
			東方文化連盟會報	LO2*051*T1
			文史通義, 9巻	CL21**1*987-1
			文史通義, 9巻	CL21**1*987-2
			文史通義, 9巻	CL21**1*987-3
	『もう一つの内藤湖南像 ～関西大学内藤文庫探索二十年～』 『内藤湖南の人脈と影響』に掲載の関 西大学所蔵内藤文庫資料画像 図1 恭仁山荘の書齋における内藤 湖南 1929年 他14点	—		
日本放送協会 知財センター	『プレミアムカフェ』 (BSプレミアム) 「その時歴史が動いた 与謝野晶 子“今ぞ目覚めて”～情熱の歌 人、女性の自立を宣言～」	2022年9月28日(水) ・ 9月29日(木)	女學世界	M*051*J14
株式会社 トリックスター	〈BS フジサタデープレミアム〉 『日本史の新常識6』	2022年10月1日(土) 20:00～21:55	内藤湖南全集 第7巻	*081.8*N9*1-7
大阪中之島美術館	企画展 大阪の日本画	(大阪) 大阪中之島美術館 2023年1月21日出～4月2日回 (東京) 東京ステーションギャラリー 2023年4月15日出～6月11日回	[深田直城双幅]	N8C2*721.6*11
			溪山深遠圖	N8C2*721.6*12 C2*721.7*T3*1
株式会社 NEXTEP	BS フジ特番 「この歴史、おいくら？」	2023年1月28日(土)	繪本琉球軍記初篇10巻(巻之1)	L24**5-425-B*1
			繪本琉球軍記初篇10巻(巻之5)	L24**5-425-B*5
			繪本琉球軍記初篇10巻(巻之6)	L24**5-425-B*6
			繪本琉球軍記初篇10巻(巻之7)	L24**5-425-B*7
日本放送協会 知財センター	『プレミアムカフェ』 (BSプレミアム) 「その時歴史が動いた 与謝野晶 子“今ぞ目覚めて”～情熱の歌 人、女性の自立を宣言～」	2023年3月3日(金) ・ 3月4日(土)	女學世界	M*051*J14
兵庫県立美術館	特別展 「恐竜図鑑 —失われた世界の想像／創造—	兵庫県立美術館 2023年3月4日(土) ～5月14日(日) 上野の森美術館 2023年5月31日(水) ～7月22日(土)	Athanasii Kircheri e Soc. Jesu Mundus subterraneus, in XII libros digestus; quo divinum subterrestris mundi opificium, mira ergasteriorum naturæ in eo distributio, verbo παντάμορφ ov Protei regnum, universæ denique naturæ majestas & divitiæ summa rerum varietate exponuntur/Abditorum ef- fectuum causæ acri indagine inquisitæ demonstrantur; cognitæ per artis & naturæ conjugium ad humanæ vitæ necessarium usum vario experimentorum apparatu, necnon novo modo, & ratione applicantur	C*450*K1*1
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館	令和4年度企画展示 「いにしえが、好きっ！ —近世好古図録の文化誌—	2023年3月7日(火) ～5月7日(日)	近江国大国郷長解	C*210.36*O1*1
			解人願広集傳	L23**C*2519

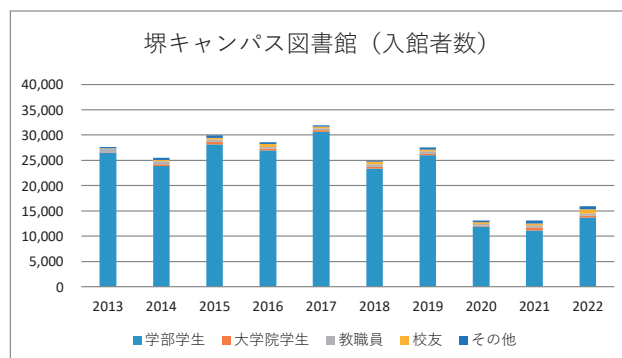
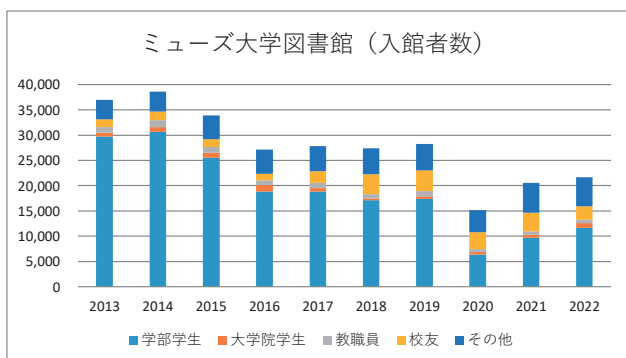
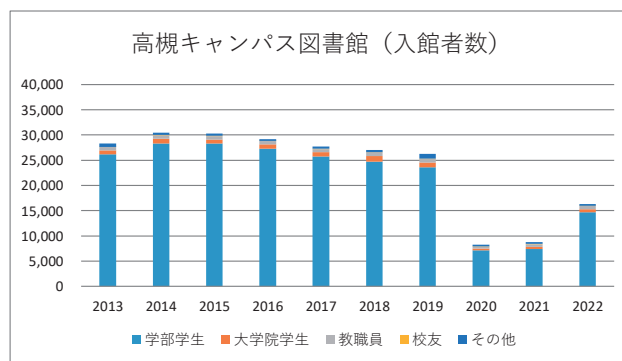
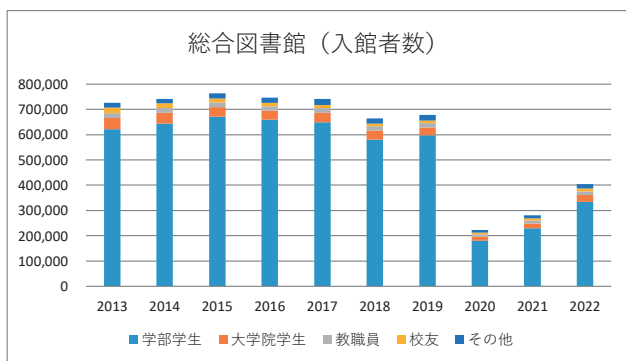
2 10年間の推移（2013年度～2022年度）

- (1) 館別・資格別入館者数
- (2) 館別・月別図書利用者数および利用冊数
- (3) Webによるサービスの利用状況
- (4) 図書館間相互利用件数
- (5) 学内で閲覧利用できる電子ジャーナル
- (6) 図書資料の所蔵数（総合図書館）
- (7) 図書の受入数
- (8) 図書館資料費執行額の推移
- (9) 電子資料に係る経費の推移

(1) 館別・資格別入館者数

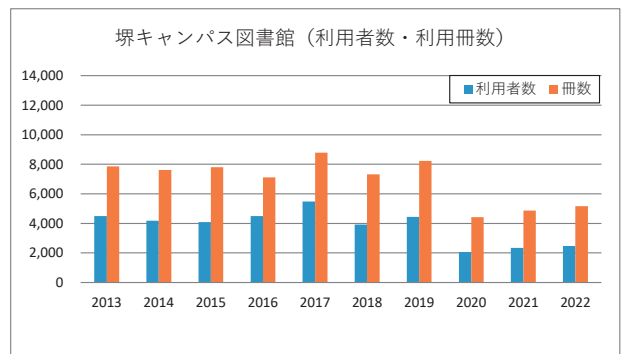
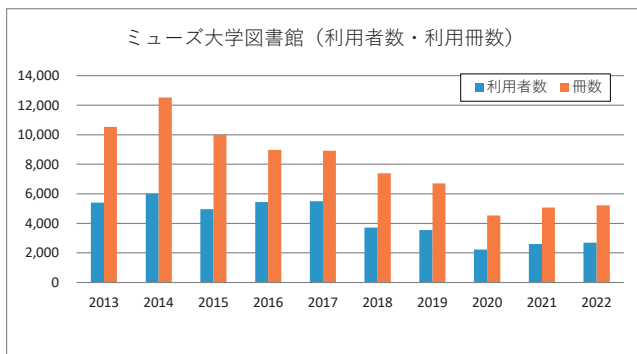
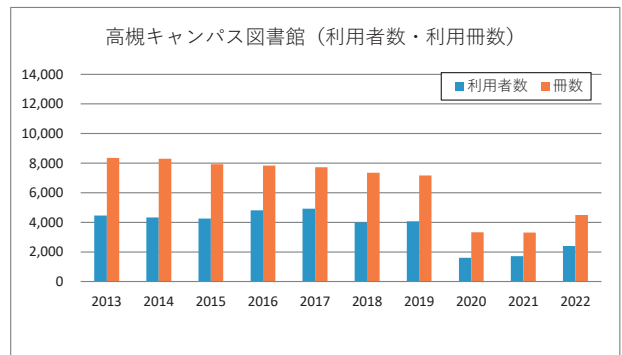
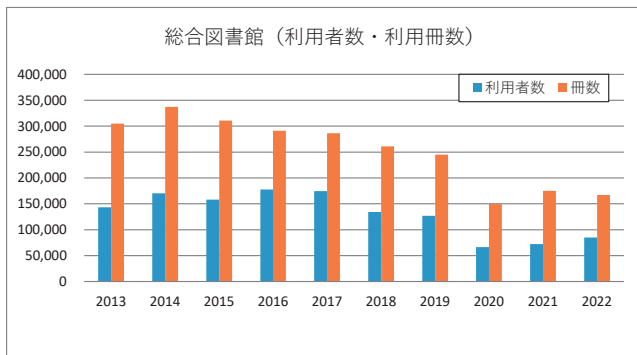
館名	資格	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
総合図書館	学部学生	622,141	643,205	671,620	659,114	648,342	580,591	597,282	180,649	229,068	334,394
	大学院学生	43,210	43,841	37,614	35,473	38,664	35,145	30,831	16,030	19,497	26,967
	教職員	18,860	18,164	18,055	16,920	17,770	17,281	17,259	9,387	11,784	14,519
	校友	22,323	19,060	15,981	14,729	12,824	11,432	11,134	6,818	9,052	11,429
	その他	20,046	17,374	20,258	21,024	23,191	19,490	21,474	9,448	12,117	16,872
	合計	726,580	741,644	763,528	747,260	740,791	663,939	677,980	222,332	281,518	404,181
高槻	学部学生	26,140	28,349	28,294	27,284	25,731	24,723	23,585	7,124	7,389	14,646
	大学院学生	777	874	801	892	843	1,137	921	322	430	665
	教職員	727	732	708	665	662	726	766	413	538	634
	校友	26	35	47	32	28	7	8	24	21	13
	その他	633	511	441	326	427	411	945	333	362	345
	合計	28,303	30,501	30,291	29,199	27,691	27,004	26,225	8,216	8,740	16,303
ミューズ	学部学生	29,667	30,639	25,483	18,840	18,849	17,124	17,407	6,360	9,654	11,676
	大学院学生	829	926	1,074	1,253	685	305	470	529	590	888
	教職員	1,092	1,353	1,077	980	1,051	892	1,047	551	676	696
	校友	1,546	1,715	1,580	1,299	2,269	3,902	4,128	3,370	3,688	2,653
	その他	3,804	3,950	4,671	4,747	4,996	5,185	5,225	4,370	5,903	5,772
	合計	36,938	38,583	33,885	27,119	27,850	27,408	28,277	15,180	20,511	21,685
堺	学部学生	26,553	23,923	28,152	26,972	30,676	23,406	25,998	11,901	11,129	13,690
	大学院学生	51	283	545	329	266	341	319	203	581	382
	教職員	677	611	442	374	387	502	458	309	409	415
	校友	124	250	293	544	368	466	349	344	380	829
	その他	247	426	484	352	236	218	463	343	563	574
	合計	27,652	25,493	29,916	28,571	31,933	24,933	27,587	13,100	13,062	15,890
総合計		819,473	836,221	857,620	832,149	828,265	743,284	760,069	258,828	323,831	458,059

注1 「その他」は地域市民、科目履修生、聴講生、留学生別科、協定大学の専任教員・大学院学生、他機関からの利用者。



(2) 館別・月別図書利用者数および利用冊数

館名	区分	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
総合図書館	利用者数	143,184	170,531	157,985	177,603	174,354	134,418	126,688	66,635	72,117	85,015
	冊数	304,955	337,035	310,737	291,079	286,279	260,808	245,209	149,643	174,984	167,281
高槻	利用者数	4,465	4,327	4,249	4,814	4,918	4,003	4,064	1,600	1,710	2,398
	冊数	8,344	8,296	7,924	7,825	7,720	7,346	7,161	3,319	3,300	4,488
ミューズ	利用者数	5,403	5,994	4,957	5,444	5,502	3,719	3,558	2,228	2,610	2,692
	冊数	10,532	12,523	9,997	8,978	8,925	7,389	6,700	4,541	5,073	5,223
堺	利用者数	4,494	4,181	4,096	4,491	5,485	3,920	4,443	2,066	2,346	2,475
	冊数	7,865	7,619	7,806	7,112	8,793	7,315	8,228	4,428	4,867	5,160

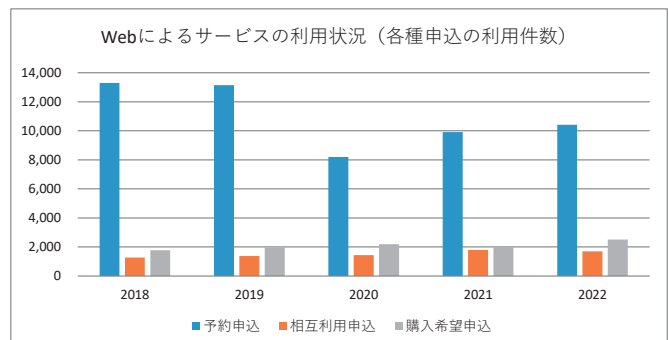
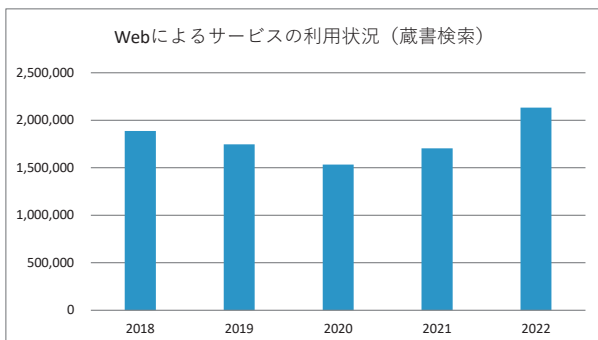


(3) Webによるサービスの利用状況

	2018	2019	2020	2021	2022
蔵書検索	1,886,933	1,746,581	1,534,671	1,704,047	2,132,404
予約申込	13,305	13,153	8,191	9,914	10,425
相互利用申込	1,276	1,379	1,436	1,785	1,699
購入希望申込	1,773	1,977	2,186	2,002	2,515

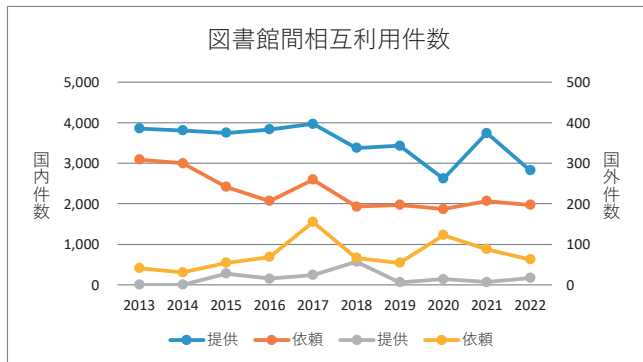
注1 統計取得は2018年度より開始。

注2 購入希望はWeb以外に書類提出によるものもある。



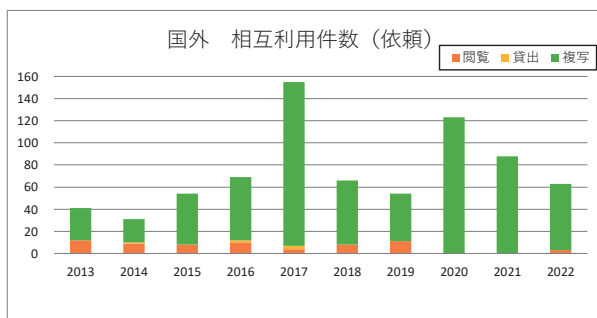
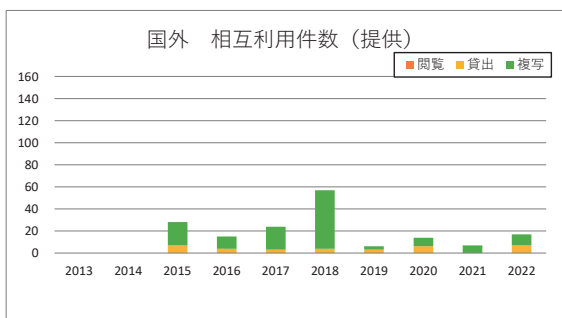
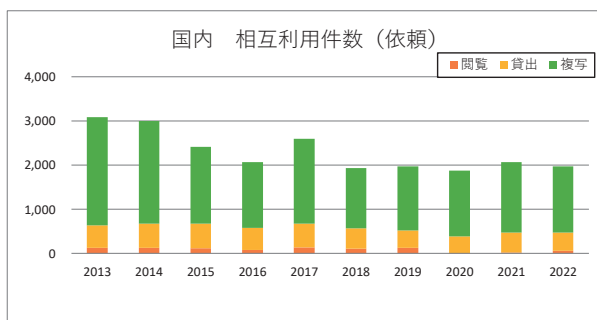
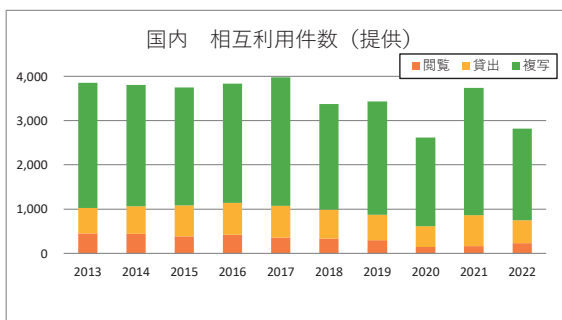
(4) 図書館間相互利用件数

		2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
国内	提供	3,857	3,809	3,749	3,836	3,974	3,375	3,430	2,618	3,743	2,823
	依頼	3,089	2,998	2,414	2,070	2,596	1,932	1,970	1,872	2,067	1,970
国外	提供	0	0	28	15	24	57	6	14	7	17
	依頼	41	31	54	69	155	66	54	123	88	63



			2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
国内	提供	閲覧	453	443	380	421	360	333	298	148	165	226
		貸出	575	619	703	717	712	655	578	466	702	525
		複写	2,829	2,747	2,666	2,698	2,902	2,387	2,554	2,004	2,876	2,072
	依頼	閲覧	121	129	118	80	131	109	122	5	23	57
		貸出	513	540	558	500	544	454	401	381	450	411
		複写	2,455	2,329	1,738	1,490	1,921	1,369	1,447	1,486	1,594	1,502
国外	提供	閲覧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		貸出	0	0	7	4	3	4	3	6	0	7
		複写	0	0	21	11	21	53	3	8	7	10
	依頼	閲覧	12	9	8	10	4	8	11	0	0	3
		貸出	0	1	0	2	3	0	0	0	0	0
		複写	29	21	46	57	148	58	43	123	88	60

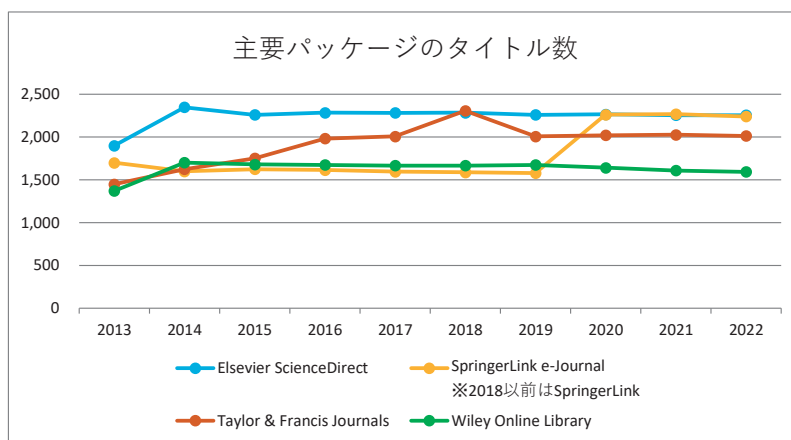
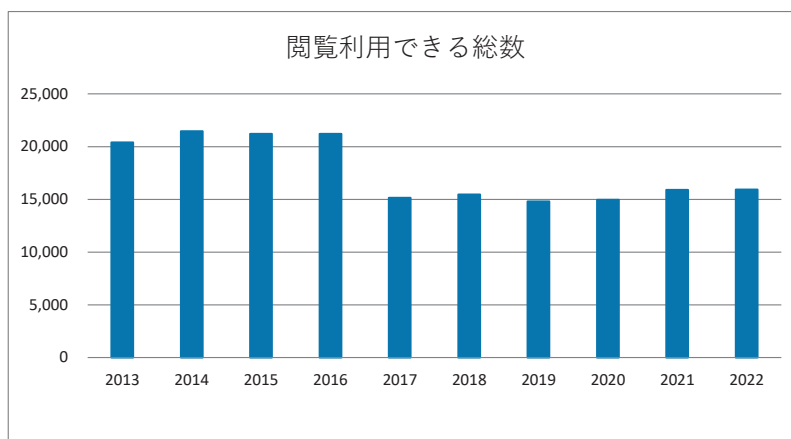
注 1 提供の貸出と複写、依頼の借用と複写の件数にはキャンセル件数を含む。



(5) 学内で閲覧利用できる電子ジャーナル

		2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
閲覧利用できる総数		20,384	21,456	21,211	21,206	15,131	15,445	14,787	14,962	15,892	15,911
の 主 要 パ ッ ケ ー ジ の タ イ ト ル 数	Elsevier ScienceDirect	1,900	2,347	2,259	2,285	2,282	2,284	2,259	2,265	2,255	2,256
	SpringerLink e-Journal ※2018以前はSpringerLink	1,700	1,600	1,624	1,615	1,595	1,587	1,579	2,261	2,268	2,240
	Taylor & Francis Journals	1,449	1,624	1,752	1,982	2,007	2,307	2,008	2,020	2,027	2,013
	Wiley Online Library	1,371	1,701	1,680	1,674	1,666	1,666	1,674	1,642	1,608	1,594

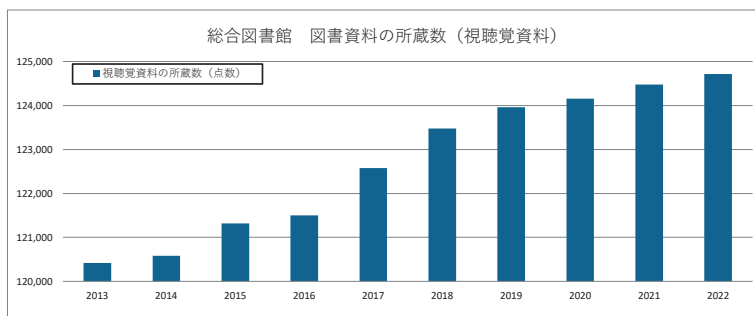
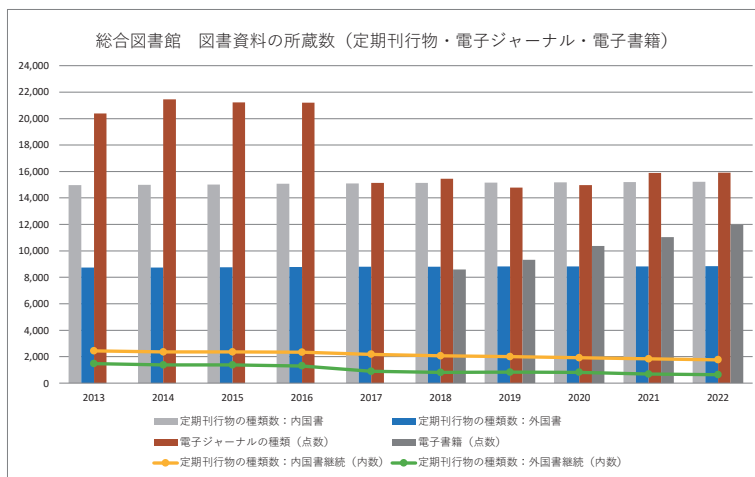
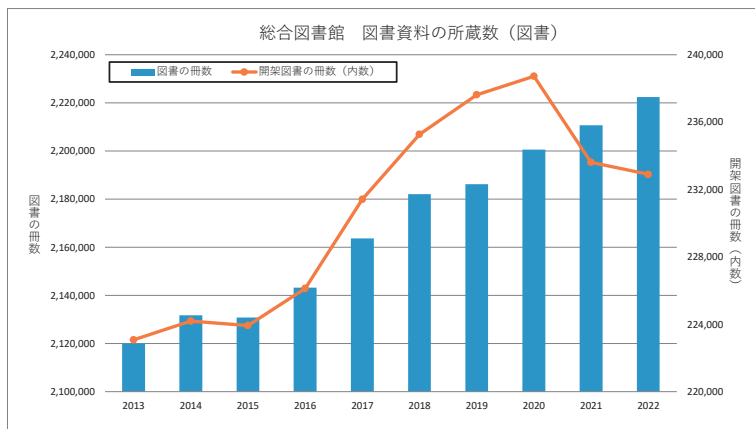
注1 2013年度から2016年度までの数値は、計数処理の都合により作業時点（翌年4月時点）の数字となっている。



(6) 図書資料の所蔵数（総合図書館）

区分	年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
図書の冊数		2,120,046	2,131,730	2,130,800	2,143,182	2,163,705	2,182,077	2,186,252	2,200,616	2,210,742	2,222,418
開架図書の冊数（内数）		223,077	224,182	223,931	226,129	231,413	235,279	237,619	238,723	233,608	232,900
の 定 期 刊 行 物 の 種 類 数	内国書	14,968	15,000	15,017	15,072	15,095	15,130	15,150	15,172	15,200	15,219
	内国書継続（内数）	2,437	2,365	2,358	2,328	2,177	2,065	2,000	1,925	1,842	1,759
	外国書	8,736	8,743	8,751	8,780	8,791	8,802	8,812	8,817	8,828	8,833
	外国書継続（内数）	1,473	1,380	1,374	1,301	888	817	830	818	686	637
視聴覚資料の所蔵数（点数）		120,415	120,583	121,315	121,502	122,578	123,475	123,958	124,152	124,476	124,713
電子ジャーナルの種類（点数）		20,384	21,456	21,220	21,206	15,131	15,445	14,787	14,962	15,892	15,911
電子書籍（点数）		—	—	—	—	—	8,598	9,321	10,359	11,044	11,988

- 注1 図書の冊数には、製本した雑誌等逐次刊行物を含む。
- 注2 視聴覚資料は、マイクロフィルム、マイクロフィッシュが大半を占め、カセットテープ、ビデオテープおよび CD-ROM・DVD-ROM 等を含み、図書の冊数の内数である。
- 注3 定期刊行物の種類数には電子ジャーナルの種類数は含んでいない。
- 注4 電子ジャーナルの種類数は延べ数で、総合図書館で集中管理をしている。
- 注5 電子書籍に係る統計取得は2018年度より開始。

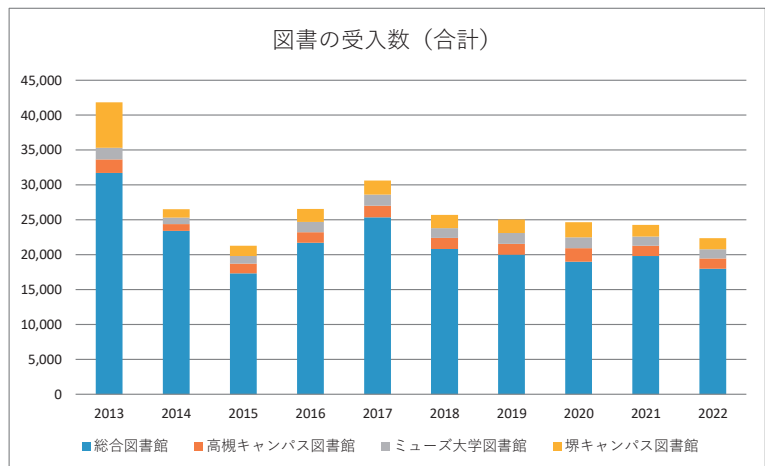
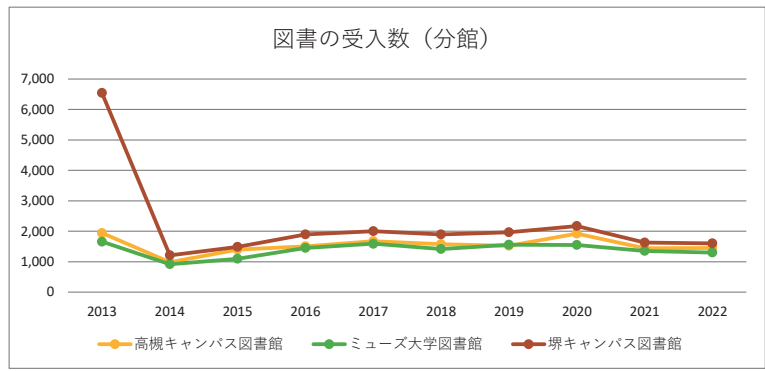
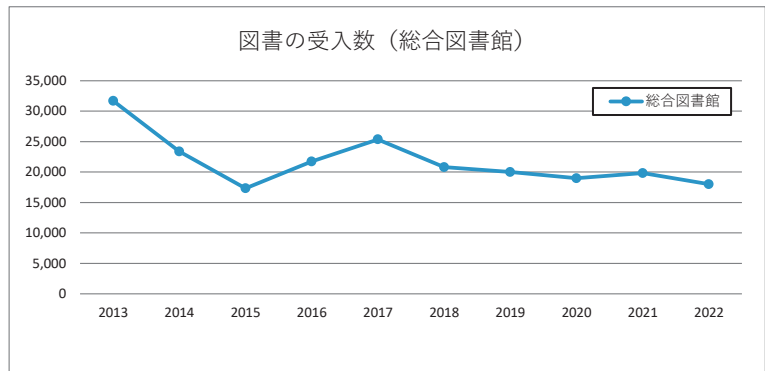


(7) 図書の受入数

(単位：冊)

館名 \ 年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
総合図書館	31,706	23,407	17,329	21,730	25,369	20,821	20,016	19,004	19,828	18,007
高槻キャンパス図書館	1,942	983	1,395	1,501	1,672	1,579	1,521	1,923	1,442	1,452
ミュージズ大学図書館	1,659	916	1,094	1,450	1,588	1,417	1,560	1,552	1,351	1,303
堺キャンパス図書館	6,540	1,208	1,484	1,896	1,998	1,896	1,967	2,167	1,631	1,598
計	41,847	26,514	21,302	26,577	30,627	25,713	25,064	24,646	24,252	22,360

注1 製本した雑誌等逐次刊行物を含む。

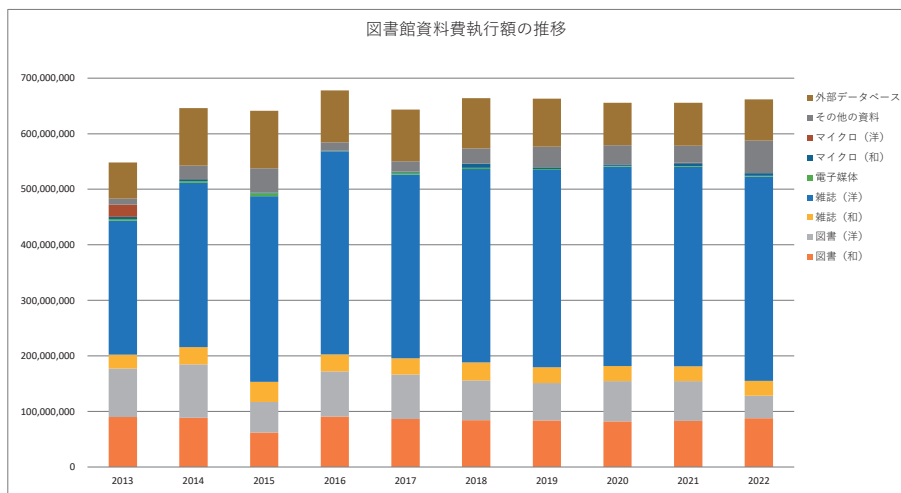


(8) 図書館資料費執行額の推移

(単位：円)

区分	年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
図書(和)		89,904,697	88,473,660	61,906,256	90,865,375	86,294,134	84,288,861	83,701,578	82,100,097	83,168,360	87,744,327
図書(洋)		87,409,825	96,161,156	55,116,434	81,407,431	79,951,962	71,552,046	67,391,716	72,617,188	71,686,744	40,634,295
雑誌(和)		25,009,110	31,078,072	36,374,648	30,454,818	29,520,048	32,401,608	28,552,190	26,869,675	26,583,086	26,667,388
雑誌(洋)		241,258,144	295,852,763	334,227,263	365,449,403	330,814,027	348,152,804	355,108,041	359,138,162	358,823,377	367,965,670
電子媒体		2,669,303	2,891,499	5,259,807	629,996	3,420,619	2,233,737	1,605,997	1,225,125	1,482,679	1,242,186
マイクロ(和)		4,269,195	3,696,387	1,213,056	629,856	1,797,336	7,318,080	3,333,456	1,785,520	5,045,792	4,932,492
マイクロ(洋)		21,555,775	491,326	0	833,902	373,554	0	0	0	1,188,000	0
その他の資料		11,220,639	24,023,571	43,495,542	14,256,315	18,258,932	27,649,781	37,072,965	35,469,179	30,534,334	58,552,582
外部データベース		65,133,961	103,340,427	103,823,214	93,344,220	93,257,202	90,371,348	86,242,698	76,512,849	77,385,967	74,223,251
合計		548,430,649	646,008,861	641,416,220	677,871,316	643,687,814	663,968,265	663,008,641	655,717,795	655,898,339	661,962,191
製本費		7,911,540	8,114,010	5,610,075	8,853,744	7,602,663	6,959,015	6,579,734	5,738,810	7,983,668	6,011,665

- 注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。
- 注2 「図書」には電子書籍を含む。
- 注3 「雑誌」には電子ジャーナルを含む。
- 注4 「電子媒体」には CD-ROM、DVD-ROM 等を含む。
- 注5 「その他の資料」には、追録、AV 資料を含む。
- 注6 2013 年度以降は、ミューズ大学図書館及び堺キャンパス図書館の図書費執行額を含む。

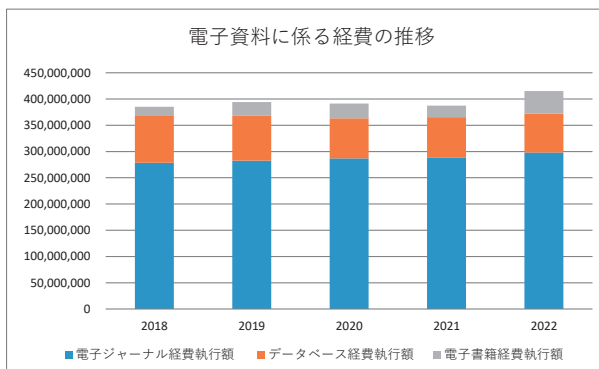


(9) 電子資料に係る経費の推移

(単位：円)

区分	年度	2018	2019	2020	2021	2022
電子ジャーナル経費執行額		278,621,627	282,533,596	286,730,735	288,089,970	297,815,838
データベース経費執行額		90,371,348	86,242,698	76,512,849	77,385,967	74,223,251
電子書籍経費執行額		16,201,226	25,577,065	28,131,304	21,925,571	43,099,135
合計		385,194,201	394,353,359	391,374,888	387,401,508	415,330,127

- 注1 「電子書籍経費執行額」は、図書費として予算執行する資料（買い切り製品のデータベース及び電子で刊行される雑誌バックナンバー）の経費を含む。
- 注2 統計取得は 2018 年度より開始。



3 2022年度 図書館自己点検・評価委員会名簿

	氏名	備考
規程第5条第1号委員	安武真隆	委員長・図書館長
規程第5条第2号委員	柴田一	図書委員会委員（文学部選出）
	佐藤方宣	図書委員会委員（経済学部選出）
	植原亮	図書委員会委員（総合情報学部選出）
	松岡光昭	図書委員会委員（環境都市工学部選出）
規程第5条第3号委員	山崎秀樹	学術情報事務局長
規程第5条第4号委員	桑原久佳	学術情報事務局次長（図書館担当）
規程第5条第5号委員	濱生快彦	図書館事務室
	鵜飼香織	図書館事務室
	新谷大二郎	図書館事務室
	浦田恵子	図書館事務室

【事務局（図書館事務室）】 浦田 恵子

4 図書館自己点検・評価委員会規程

制定 平成6年1月28日

(趣 旨)

第1条 この規程は、関西大学図書館規程第7条第2項の規定に基づき、図書館自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）について必要な事項を定めるものとする。

(任 務)

第2条 委員会は、図書館における教育研究の支援活動及び管理運営の自己点検・評価の取組を行うため、次の事項を行う。

- (1) 自己点検・評価の方針の策定並びに点検項目の設定及び変更
- (2) データの収集、分析及び検討
- (3) 報告書の作成
- (4) その他自己点検・評価及び第三者評価に関する事項

(各機関の協力)

第3条 委員会は、前条第2号に規定するデータ収集のため、それに関わる各機関に対して協力を求めることができる。

(報 告)

第4条 委員会は、自己点検・評価の結果を図書館長に報告し、図書委員会の議を経て公表することができる。

(構 成)

第5条 委員会は、次の者をもって構成する。

- (1) 図書館長
- (2) 図書委員のうちから図書館長が指名する者若干名
- (3) 学術情報事務局長
- (4) 学術情報事務局次長（図書館担当）
- (5) 図書館事務職員から若干名
- 2 図書館長が必要と認めた場合、2名以内に限り、図書委員会の議を経て大学内外の有識者に委員を委嘱することができる。

(委員長等)

第6条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は図書館長をもって充て、副委員長は委員のうちから委員長が指名する。
- 3 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。

(委員の任期)

第7条 第5条第1項第2号及び第5号に規定する委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前項の委員に欠員が生じたときは、補充しなければならない。この場合において、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(運 営)

第8条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席委員の過半数の同意をもって決し、可否同数の場合は議長が決する。
- 3 委員会は、必要に応じて、委員以外の者に出席を求め、その意見を聴くことができる。

(事 務)

第9条 委員会の事務は、図書館事務室が行う。

附 則

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成13年10月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程（改正）は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 この規程（改正）施行後最初に第5条第3号及び第4号の規定により選出された委員の任期は、第7条第1項本文の規定にかかわらず、平成16年3月31日までとする。

附 則

この規程（改正）は、平成18年10月12日から施行し、平成18年8月1日から適用する。

附 則

この規程（改正）は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、2019年10月1日から施行する。

セミナー「災害と図書館」は何を語っていたのか？

榎本啄杜

1. はじめに

2022年10月12日（水）に、国立大学図書館協会主催で「令和4（2022）年度セミナー『災害と図書館』」が開催された。本セミナーは国立大学図書館協会会員館の教職員及び本テーマに関心を持つ関係者を対象にオンラインで配信されており、その目的は「各館で行われている防災訓練の内容の向上や危機管理マニュアルの更新につなげ、より安全・安心に利用できる図書館となるための一助とすること」にある（国立大学図書館協会 2022）。

本セミナーは主に3つの報告で構成されており、報告者名及び題目は以下の通りであった。

村上健治氏

「アンケート調査結果概要」

半澤智絵氏

「東北大学附属図書館における地震対応」

今津勝紀氏

「文化財の防災を考える

— 西日本豪雨の経験から —」

簡単のため、本稿では上記3つの報告をそれぞれ「村上報告」「半澤報告」「今津報告」と呼ぶ。

本稿の構成は以下である。まず2節では、セミナー名でもある「災害と図書館」の鳥瞰図を描き、本セミナーで語られる話題の範囲に目星をつける作業を行う。次に3節以降では、「村上報告」（3節）「半澤報告」（4節）「今津報告」（5節）の順に、2節で作成した鳥瞰図に当てはめながらその内容を振り返り、そこから得られた示唆を簡単に述べる。最後に6節で、本セミナーの内容を総括する。

2. 「災害と図書館」の鳥瞰図

各報告の詳細に踏み込む前に、本セミナーが対象とする話題の概要を大まかにでも押さえておく必要

がある。その理由を2つ挙げるならば、(1) 本セミナーの目的意識は前述の通り明確に設定されているものの、「災害」と「図書館」の2つが関わる領域はそれぞれ多分に広大であること、(2) 各報告者の実務経験が豊富であるがゆえに話題が縦横無尽に展開され、素人目からすると話の筋を追にくい箇所が複数あったことによる。

広大なテーマである「災害と図書館」の鳥瞰図を描き、各報告がこの鳥瞰図のうちどの部分に位置づけられるかを確認しながら振り返ることは、筆者自身が本セミナーの内容を改めてより深く理解するためだけでなく、実際に本セミナーを聴講していない者が迷子にならないためにも有益だろう。以下、「災害」「図書館」の順に、その概要を簡単に確認する。

2-1. 災害について

まず、「災害」という言葉の意味する範囲を、本セミナーに関連する限りにおいて確認しておく必要がある。というのも、本セミナーの趣旨説明（国立大学図書館協会 2022）には「水害や地震等が各地で発生」や「地震・水害からの復興過程」といった表現が見られることから、おそらく本セミナーで扱われる「災害」とは地震や水害等の一部の自然災害に限定されると推測はできるものの、一部報告にはそこから逸脱する用法も見受けられるがゆえ、多少の混乱が懸念されるためである。この論点は、3節において村上報告を考えるうえで重要となる。

災害対策の基本となる法律である「災害対策基本法」の第二条では、災害は以下のように広く定義されている。

暴風、竜巻、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、噴火、地滑りその他の異常な自然現象又は大規模な火事若しくは爆発その他その及ぼす被害の程度においてこれらに類する政令で定める原因により生ずる被害をいう。

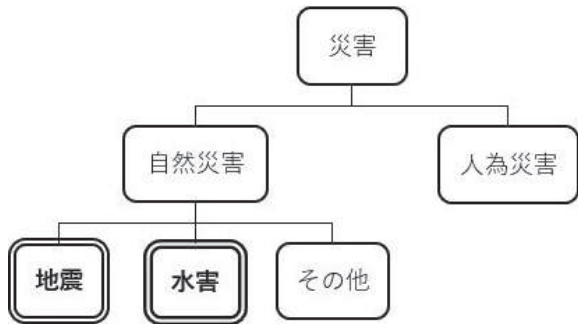


図1 災害の区分（二重線が本セミナーの主題）

条文前半部分ではいわゆる自然災害に言及しており、馴染みのある自然現象名が例として列挙されている。注目すべきは、「又は」以降の条文後半部分である。ここでは、自然現象を原因とする自然災害以外の災害の存在が示唆されている。また、林は広辞苑を援用しつつ、災害を「自然災害」と「人為災害」の2種類に区別しており、後者は「人間の行いを原因とする」大規模な「事故・事件」のことを指すとしている（林 2003, p.134）。

災害を定義する際には原因以外の複数の要素をもって特徴づけられるのが一般的だが、本セミナーを理解するという現在の目的に照らせばこれで十分だろう。本セミナーの趣旨説明（国立大学図書館協会 2022）からも明らかではあるが、各報告者による題目を改めて確認すると、半澤報告は地震、今津報告は豪雨による水害を扱っていることがわかる。以上から、本セミナーの主題は暫定的に図1のように位置づけることができる。つまり、本セミナーにおける「災害と図書館」という表現の意図するところは、「（自然災害である）地震／水害と図書館」の関係性を扱うことである。

2-2. 図書館について

加えて、災害に対して図書館ができることとして何があるかについても確認しておこう。というのも、「災害と図書館」という表現からは、少なくとも「図書館による取組の対象は何か」あるいは「図書館による取組のタイミングはいつか」という2つのアプローチが連想されるが、どちらのアプローチに基づいて解釈すべきかが現時点では必ずしも自明ではないためである。

まず、「取組の対象は何か」というアプローチから考える。災害が生じれば、当然物理的な施設・設備としての図書館そのものへのダメージがあるため、復旧作業等が必要になる。図書館が図書館のために

	← 発災前 →	→ 発災直後 →	← 被災後 →
図書館のための取組	防災	復旧	復興
地域のための取組	防災教育	—	被災者支援

図2 災害に対して図書館ができること

行う取組であることから、これを便宜上「図書館のための取組」と呼ぼう。他方で、岡本が指摘するように、図書館は「情報と人をつなぐ拠点として」「災害後の被災者支援と災害に備える防災教育を担う」場としての機能を有している（岡本 2019, pp.2-3）¹⁾。各図書館が所在する地域のために行うこのような取組——無論、公共図書館と比較すると大学図書館の公共性は閉じたものにならざるを得ないが——を、便宜上「地域のための取組」と呼ぼう。

次に、「取組のタイミングはいつか」というアプローチを考える。すでに言及したように、災害への対応は「災害に備える」段階と「災害後」の段階があり、それによって取るべき行動は異なる。採用する観点によっては多様な分け方が考えられる（cf. 河田 2003; 津久井 2012）が、本稿では単純に「発災」を軸に3つのタイミングに分け、それぞれ「発災前」「発災直後」「被災後」と呼ぶこととする。

以上から、災害に対して図書館ができることはひとまず図2のように整理することができる²⁾。取組のタイミングを示す項目名に記した破線矢印は、「発災前」「発災直後」「被災後」が完全に切り離されたものではなく、ある程度連続したものであることを示している³⁾。以降は、各報告（ただし村上報告は除く）が図2のうちどの部分に該当するものなのかを意識しながら読み進める。

なお、図2の分類は網羅的であることを意図していない。考察する対象や目的、文脈が異なれば、他の論者が重要だとみなしている論点を取りこぼしていることもあるだろう。図2は、あくまで本セミナーを理解するために必要な程度の鳥瞰図であることに注意されたい。

3. 村上報告「アンケート調査結果概要」について

村上報告は、まずは防災に関する心がけについて簡単に述べられた後、2つのアンケート調査に関する結果報告がなされた。

前者については、自身の経験を振り返りながら「緊急事態は誰もが数回は経験することであり、防災訓練は決して無駄にならない」、「発災時に全職員が勤務しているわけではないことを意識して災害に向き合う心づもりをせよ」といった教訓が述べられた。

後者については、まず、2022年8月9日から同年9月20日にかけて実施された、国立大学図書館協会加盟館を対象とした「調査1：防災と災害時緊急対策に関するアンケート調査」の結果の概要が示された。ここでは阪神淡路大震災の直後である1995年7月に実施された同趣旨のアンケート結果との比較が行われ、この30年弱の間で防災意識がどのように変化したかが分析された。分析の結果、加盟館における防災意識は大半の項目で変化がなかったものの、「書架や書庫等の対策を実施している」と回答した加盟館は34%から91%へと57ポイント増加していることが判明した。また、「調査2：新型コロナウイルス感染症流行の影響に係る調査」の結果の概要では、新型コロナウイルス感染症の流行を機に、図書館におけるオンライン関係の体制が顕著に進展していることが示された。

とりわけ調査1では、単年度の結果で終始するのではなく、経年比較することで防災意識の変化を捉えようとする試みがなされていた。アンケートの設計や取りまとめの方法に多少の粗さは見られたものの、実際に意識の変化が認められた項目と認められなかった項目が明確に示された点で、貴重な報告だったと言える。

しかし一方で、以下の2点については疑問が残った⁴⁾。まず、村上報告の冒頭部分において有名な「ハインリッヒの法則」を引用しながら、「災害の背後には多くのヒヤリハット事例があることがわかっており、様々な災害の事例を蓄積していくことが更なる災害を避けることに繋がる」「よって、様々な事例を知ることが肝要だ」と述べられた。しかし、当のハインリッヒは「災害」や「災害防止」に関して以下のように述べている。

災害防止は（略）まず第1に、制御すなわち労働者の作業、機械の性能および物質的環境の制御である。（ハインリッヒ 1982, pp.3-4）
災害とは、物体、物質、人間または放射線の作用または反作用によって、人間の傷害またはその可能性を生ずるような、予想外の、しかも抑制されない事象である。（ibid., p.21）

続けて、ハインリッヒは「1：29：300の比」（いわゆる「ハインリッヒの法則」）に言及して以下のように述べる（ibid., p.59）。

1：29：300の比は同一の人間に類似した災害が330回起きるとき、そのうち300回は傷害を伴わず、29回には軽い傷害が、1回には重い傷害が伴うことを示している。（略）すべての災害の下には、おそらく数千に達すると思われるだけの不安全行動と不安全状態が存在する。

教訓1 災害を防げば傷害はなくなる。

教訓2 不安全行動と不安全状態をなくせば災害も傷害もなくなる。

いわゆるハインリッヒの法則には様々な角度からの批判がありうるが、本稿では差し当たり妥当なものとして話を進める。以上の引用からも明らかのように、ハインリッヒの法則は図1における「人為災害」について述べたものである。村上報告冒頭の発言は、300の傷害を伴わない事例と数千に達するほどの不安全行動と不安全状態を想定したうえで、引用内の教訓2と同内容あるいはそれを若干弱めた主張を行ったものと思われる。しかし、ハインリッヒの主張はあくまで人為災害について労働環境の「制御」をキーワードとして限定的に述べられたものであり、原因の制御が現状難しい自然災害を扱う本セミナーの趣旨を考慮すれば、ハインリッヒを引用したこの発言は聴講者を概念的混乱へと誘う恐れがあったのではないか。

次に、同じく村上報告の冒頭部分において「以前の疑問だったが、防災訓練時に必ず持ち出すことになっている『重要書類』とは実際には何なのか？それは『データ』のことだ」という結論に至った」と述べられた。曖昧にしか語られていなかった「重要書類」の正体について答えを与える試みがなされ、それに「データ」という暫定的な答えが与えられたことになる。しかし、「データ」という用語は少なくとも以下に述べるような2種類の解釈を許すが、そのうちどちらの解釈をとればよいか明示されておらず、仮にどちらか一方の解釈をとったとしても、以下の理由で満足のいく回答とは言えないだろう。

たとえば1つめの解釈として挙げられるのは、以下の論者が指摘するような、情報を定義するための手段としてのデータ空間である。

情報とは、受け手にとって意味を持つような形式へと処理されたデータである。

(Davis and Olson 1985, p.200)

データとは、情報を生み出すために処理・精製された生の素材である。

(Silver and Silver 1989, p.6)

情報は「データ+意味」に等しい。

(Checkland and Scholes 1990, p.303)

意味論的情報の一般的定義は、n個のデータで構成されており、well-formedで意味を持つ。

(Floridi 2011, p.84)

情報科学等の分野では、データは情報から意味を捨象したものであると見なすがすでに一般的になっており⁵⁾、それが「データ」サイエンスと「情報」科学を区別すべき所以でもある。この解釈に基づけば、「データ」という答えを与えたことで、むしろ元の「重要書類」よりも曖昧さが増してしまうのではないか。

この1つめの解釈に対しては、「そのような広い意味でデータという用語を用いているわけではなく、USBフラッシュドライブのような補助記憶装置に格納できるタイプの電子ファイルに限定して述べているのだ」という2つめの解釈に基づく反論が可能である。しかし、2つめの解釈をとったとしても、元の「重要書類」よりも曖昧さが増してしまう事態に変わりはないように思われる。極端な例を挙げれば、紙媒体でしか保管できない貴重書や補助金用の根拠資料等と比較した際に、筆者が業務を遂行する上で受けた日々のストレスを綴った実在する電子テキストファイルの方が重要で、災害時や防災訓練時には電子媒体の愚痴データを優先的に持ち出すことになってしまいかねない。やはりいずれにしても、もう少し曖昧さを減らすことができるような回答が求められる。

4. 半澤報告「東北大学附属図書館における地震対応」について

半澤報告は、東北大学附属図書館が被災した際の事例について、復旧の観点と防災の観点からの報告がなされた。図3は、半澤報告の射程を図示したものである（ドット柄で塗りつぶされた箇所は、当該報告では扱われていないことを意味する）。

	発災前				発災直後				被災後
図書館の ための取組	防災				復旧				復興
地域の ための取組	防災教育				—				被災者支援

図3 半澤報告の射程

まず、戦後の記録上、東北大学附属図書館にとって被害が大きかった以下の4つの地震と、当時の被害の様子と対応が紹介された。

1978年：宮城県沖（震度5）

2011年：東日本大震災（震度6弱）

2021年：福島県沖（震度5強）

2022年：福島県沖（震度5強）

報告者は記録の大切さを繰り返し強調していることもあり、それぞれの被災時の様子が写真の記録とともに説明され、視覚的にもわかりやすい報告だったと言える。

次に「発災後の行動」「復旧」として、図3中の「復旧（発災直後）」に相当する報告がなされた。発災時の行動のポイントとしては、「役割分担をしっかりと決めて動く」「避難の際は利用者への声掛けを忘れない」「本部との連絡はできる限り行う」「記録のために現場の写真を撮る」といったことが述べられた。また、発災後の復旧作業のポイントとしては、「できる人が、できる箇所から、やりやすいところから行う」「なるべく人手を確保する」「作業効率や段取りを考えてから動く」「定期的に休憩を挟む」といったことが述べられた。

最後に「対策」として、図3中の「防災（発災前）」に相当する報告がなされた。とりわけ書架や書庫の落下防止策に重きを置いて紹介されており、「落下防止バー」「棚の傾斜」「すべり止めテープ」「棚へのゴム掛け」「棚はめ込み保存箱」など様々な工夫が施されているように見受けられた。当該図書館ではこれらの対策はいずれも一定の効果が認められたものの、これらの防災策はあくまで被害を小さくするためのものであり、ある程度の破損は覚悟しておくべきだと締めくくられた。

報告内容の時間軸としては「復旧」から「防災」へと話が進んだが、2-2でも述べたように、被災の

経験が次に起こる災害の対策へと繋がるという連続性（注3ではこれを「災害サイクル」と呼んだ）がまさに読み取れる報告だったと感じた。

また、発災前の防災カテゴリーに相当する「対策」では、書架や書庫の落下防止策に重きを置いている様子が見られたが、これは村上報告において指摘された次の事実、つまり「書架や書庫等の対策を実施している」と回答した加盟館が34%から91%へと57ポイント増加しているというアンケート結果が、一部具体的に示された形となった。各報告者間での整合性がとれており、半澤報告によって村上報告の意義がよりサポートされたと言えよう。

さらに、報告者自身の被災の経験から「机の下には隠れずに、揺れている最中でもできるだけ早く避難した方がいい」と述べられたことについて、この論点はすでに様々な論者から指摘されているものの、実際の防災訓練には反映されていない場合が多い（cf. ホームライフ取材班 2020）。改めて既存の防災訓練の手順や内容を、状況に応じて考え直す必要があると感じた。まさに、本セミナーの目的である「各館で行われている防災訓練の内容の向上や危機管理マニュアルの更新」に沿った報告だったと言える。

5. 今津報告「文化財の防災を考える — 西日本豪雨の経験から —」について

今津報告は、主に水害について、報告者自身が発足させた岡山資料ネットの活動を踏まえつつ、縦横無尽な話題展開で幅広い報告がなされた。図4は、今津報告の射程を図示したものである（図3と同様、ドット柄で塗りつぶされた箇所は、当該報告では扱われていないことを意味する）。

今津報告の冒頭は「図書館は知を支える基盤だ」という言葉から始まり、災害に関する「図書館のための取組」に関する総括的なイントロダクションがなされた。しかし、図4を見ればわかるように、実

際の報告内容の大半は取組対象が図書館に特化したものではなく、「地域のための取組」に関するものでもあった。図4中の話題が矢継ぎ早に移り変わり、全報告のうち最も聴講者の脳に汗をかかせた報告だったと言ってよいだろう。

岡山資料ネットとは、「災害から歴史遺産を守るために、災害前に何かできることを」という考えのもと設立された、歴史資料や広義の文化財の保全と、社会におけるその活用を実践的に進めるボランティア組織である。報告者の今津氏は地域に関する歴史研究が専門分野であるが、単に歴史家による歴史家のための資料保存運動ではなく、地域の人々が災害をどのように乗り越えていくかという活動の一環としても考えられた結果、研究ための活動が周辺地域への防災意識にも繋がったという。

岡山資料ネットの具体的な活動内容や役割は、「被災資料レスキュー活動」「巡回調査」「レスキュー資料の仮整理作業」「埋蔵文化財保全活動」「震災保存記録」「被災地・被災者への社会心理学的支援」「新たな地域社会の創造」と多岐に渡る。ここからも、今津報告の射程の広さがよくわかるだろう。

「地域のための取組」は、大学図書館よりも一層公共性の高い公共図書館等でなければ行うことができないという印象が強かったが、岡山資料ネットの活動は報告者が所属する岡山大学と連携して行われており、大学図書館による「地域のための取組」の可能性が示唆された。無論、岡山資料ネットは発足者の専門分野が地域に関する歴史研究だったために、地域の防災教育や被災地・被災者への支援にも上手く接続できた、という特殊な事情もあるだろう。しかし、目的や手順が異なるとしても、方法次第では大学図書館もまたその役目を果たせるはずであり、今津報告はそのモデルケースだと見なすことができる。

6. おわりに

筆者が本セミナーへの参加を申し込んだのは、本学図書館においてサービス業務を担うチームに配置されてすぐのことだった。申し込んだ当時は「ひとまず業務に直結しそうな内容のセミナーを勉強のために受講しよう」と安易に考えていたが、申し込み後、諸事情により別のチームへと配置転換となった。そのため、実際に本セミナーへ参加した際にはすでに担当業務に直結する内容ではなくなっていたが、

	発災前				発災直後				被災後
図書館のための取組	防災				復旧				復興
	地震	水害	その他	人災	地震	水害	その他	人災	
地域のための取組	防災教育				—				被災者支援

図4 今津報告の射程

不慣れな分野の鳥瞰図を描く作業を終えた今、図書館に関する全般的な知識が以前よりも身についた実感がある。結果として、本セミナーの内容とは一見関係がないと思えるような担当業務を遂行するうえでも、本セミナーへの参加は筆者にとって意義のあるものとなった。無論、すぐに役に立つ実感が得られないものであったとしても、筆者にとって意義のあるものであったことには変わりないだろう。今後も特定の分野に縛られることなく—職場が許容する限りにおいて、だが—幅広く知識を身につけていきたい。

改めて本セミナーを総括的に振り返れば、村上報告によって経年的な防災意識の変化が、半澤報告によって地震に関する防災や復旧が、今津報告によって水害に関する防災や復旧、そして周辺地域への防災教育や被災者支援がカバーされており、バランスの取れた構成だったという印象を受けた。一方で、すでに述べたように、本セミナーの主題は自然災害のうち地震や水害に限定されていた。今回言及されなかったその他自然災害（火災等）や人為災害と図書館の関わりについてのセミナー開催も期待したい。

注 記

- 1) 『みんなで考える図書館の地震対策』編集チーム編(2012)においても同様の主張がなされている。「地域のための取組」の具体例としては、地域の人を巻き込んだ図書館主催の防災訓練（講義や関連書籍の提供含む）、ユーザーフレンドリーな形式での災害関連情報の収集・提供、被災地への物資や本の提供、生活再建のコミュニティ拠点形成などが挙げられる。
- 2) 広義の「防災」は、図2中の「防災」「復旧」「復興」をすべて含む概念である（cf. 水谷 2002）。本稿では一部報告者の用法に沿い、「防災」を発災以前に関わる狭義のもの、「復旧」を発災時の緊急対策や一時的な機能の回復、「復興」を長期的な機能改善と捉えている。なお、河田によれば、危機管理の時系列的展開には「事前対応」「即時対応」「緊急対応」「応急対応」「復旧対応」「復興対応」の6つのステージがあり、本稿における「防災」は「事前対応」に、「復旧」は「即時対応」「緊急対応」「応急対応」に、「復興」は「復旧対応」「復興対応」にそれぞれ対応していることに注意されたい（河田 2003, pp.44-45）。
- 3) たとえば、「被災後」は次に起こる災害の「発災前」でもある。津久井（2012）はこのような連続性を指して

「災害サイクル」と表現している。

- 4) 村上報告は他報告よりも一歩踏み込んだ主張が多いため、それに連動して他報告よりも批判点が多くなっている。しかし、一歩踏み込んだ主張を行うことはむしろ推奨されるべきものであり、このことによって村上報告の価値が損なわれることはない。
- 5) 図書館情報学の分野でも、たとえばボーデン&ロビンソン（2019）がこの見方を紹介している。

参考文献

- Checkland, P. B., and Scholse, J., *Soft Systems Methodology in Action*, New York, Oxford University Press, 1990
- Davis, G. B., and Olson, M. H., *Management Information Systems: Conceptual Foundations, Structure, and Development*, 2nd edn, New York, MacGraw-Hill, 1985
- Floridi, L., *The Philosophy of Information*, Oxford, Oxford University Press, 2011
- Silver, G. A., and Silver, M. L., *Systems Analysis and Design*, Reading Mass: Addison-Wesley, 1989
- 岡本正『図書館のための災害復興法学入門 新しい防災教育と生活再建への知識』東京、樹村房、2019
- 河田恵昭「危機管理論 安全／安心な社会を目指して」『防災学講座4 防災計画論』（京都大学防災研究所編）東京、山海堂、2003、pp.25-98
- 国立大学図書館協会「令和4（2022）年度 セミナー「災害と図書館」」[参照 2023.1.24]
(URL <https://www.janul.jp/ja/operations/symposia/2022/symp2022-2>)
- 津久井進『大災害と法』東京、岩波新書、2012
- 林春男「災害をうまくのりきるために クライシスマネジメント入門」『防災学講座4 防災計画論』（京都大学防災研究所編）東京、山海堂、2003、pp.131-175
- ハインリッヒ, H. W.『産業災害防止論』（助総合安全工学研究所訳）東京、海文堂、1982
- ボーデン, D.・ロビンソン, L.『図書館情報学概論』（田村俊作・塩崎亮訳）東京、勁草書房、2019
- ホームライフ取材班編『「防災」のやっつけられない』東京、青春新書ブレイブックス、2020
- 『みんなで考える図書館の地震対策 編集チーム『みんなで考える図書館の地震対策 減災へつなぐ』東京、日本図書館協会、2012

（えのもと たくと 図書館事務室）

2022年度図書館活動報告

1 図書委員会

第1回：2022年4月20日(水) [オンライン開催]

- 確認事項（2022年度図書委員会委員について、2022年度図書館自己点検・評価委員会委員について、2024年度以降の図書費検討専門部会の委員について、2022年度学術リポジトリ運営委員会委員について）
- 審議事項（2021年度図書費決算について、2022年度図書費予算について）
- 報告事項（学習用図書の選書協力について、2022年度市民利用の受付結果について、新型コロナウイルスの影響拡大に伴う図書館の対応について、図書館全館年間展示計画の予定について、図書館におけるSDGsの取組について、図書館利用ガイドツールkoaLABOについて、オンラインレファレンスサービスの開始について、図書委員会開催日程について）
- その他（国際情勢による資料納品への影響について、「新入生に贈る100冊」について、2024年度以降の図書費検討専門部会事項について）

第2回：2022年5月18日(水) [オンライン開催]

- 審議事項（代表者申請による個人研究費を用いた2023年度資料購入について）
- 報告事項（2024年度以降の図書費検討専門部会の委員について、2024年度以降の図書費検討専門部会事項について、ProQuest Ebook Central 試読型選書システム（Mediated DDA）の実施について、オックスフォード大学出版局の電子書籍閲覧サービスについて）

第3回：2022年6月15日(水) [持回り開催]

- 確認事項（代表者申請による個人研究費を用いた2023年度資料購入について）
- 報告事項（新型コロナウイルスの影響拡大に伴う図書館の対応について、高額資料の購入について、「2022新入生に贈る100冊」（電子版）の再告知について、図書館におけるSDGsの取組について、図書館ミニ・ガイダンスの実施について）
- その他（オックスフォード大学出版局の電子書籍閲覧サービスについて、学習用図書の選書システム利用開始時期の遅延について）

第4回：2022年7月20日(水) [オンライン開催]

- 審議事項（「2024年度以降の図書費予算のあり方について（検討のまとめ）（案）」について）
- 報告事項（「2024年度以降の図書費予算のあり方について（検討のまとめ）」説明会開催について、代表者申請による個人研究費を用いた2023年度新規資料の購入について、その他の教育研究費等を用いた資料購入について、分館所蔵の廃棄雑誌譲渡の取り扱い変更について、総合図書館エレベーター・空調・屋上防水改修、集密書架設置工事の実施について、新型コロナウイルスの影響にかかる図書館の対応について）

について（検討のまとめ）」説明会開催について、代表者申請による個人研究費を用いた2023年度新規資料の購入について、その他の教育研究費等を用いた資料購入について、分館所蔵の廃棄雑誌譲渡の取り扱い変更について、総合図書館エレベーター・空調・屋上防水改修、集密書架設置工事の実施について、新型コロナウイルスの影響にかかる図書館の対応について）

- その他（学習図書選書システムの利用開始について、学長面談について）

第5回：2022年9月28日(水) [オンライン開催]

- 審議事項（2024年度以降の図書費予算のあり方について（検討のまとめ）案について、2023年度図書費の予算申請について）
- 報告事項（2022年度図書費予算執行状況（4月～8月）について、代表者申請による個人研究費を用いた2023年度新規資料の購入について、新型コロナウイルスの影響にかかる図書館の対応について、図書館ミニ・ガイダンス（秋学期）の実施内容について、「KU Library thinks SDGs 2022」の実施について、「関西大学フェスティバル in 関西」への対応について、「関大防災 Day 2022～広がれ！みんなの安全・安心！～」実施に伴う図書館の地震避難訓練について）
- その他（『図書館フォーラム』2022（第27号）発行について）

第6回：2022年10月19日(水) [オンライン開催]

- 審議事項（電子ジャーナルパッケージ・データベースの2023年購入候補について）
- 報告事項（代表者申請による個人研究費を用いた2023年度継続発注不可資料の購入申請について、教育研究経費等を用いた資料購入について、Wiley Digital Textbooks 無料トライアル実施について、学園祭期間中の図書館の開館日程について、大阪公立大学図書館機構・関西大学図書館の相互協力事業に関する覚書の締結について、大阪公立大学図書館機構・関西大学図書館の所蔵資料の相互利用及び分担保存に関する申し合わせの締結について、「新入生に贈る100冊」関連講演会の実施について）
- その他（総合図書館2階人文系フロアの雨漏りにについて）

第7回：2022年11月16日(水) [オンライン開催]

- 審議事項（冊子体雑誌及び個別電子ジャーナルの

2023年購入候補について、2023年度図書館開館日程(案)について)

- 報告事項(2023年度代表者申請による個人研究費を用いた継続発注不可資料(冊子体雑誌及び個別電子ジャーナル)購入申請について、2024年度新規資料を含めた冊子体雑誌及び個別電子ジャーナルの選定について、2023年度電子ジャーナルパッケージ・データベースの各学部等推薦5位(序列47位)までの資料と共通データベースのアクセス数不足分の契約について、2023年度図書費以外の経費等を用いた電子ジャーナルパッケージ・データベースの購入について、2023年度関西大学図書館市民利用の募集について、国立情報学研究所提供システムの更新に伴うサービスの一部停止について)
- その他(文部科学省からの拉致問題に関する図書資料充実の協力依頼について)

第8回:2022年12月21日(水) [オンライン開催]

- 審議事項(2024年度以降の授業で必要とするデータベースの選定について、2024年度以降の学習用雑誌の選定について、「関西大学図書委員会規程」の一部改正について)
- 報告事項(2024年度新規資料を含めた電子ジャーナルパッケージ及びデータベースの選定について、2023年度代表者申請による個人研究費を用いた継続発注不可資料の申請状況について、2024年度冊子体雑誌及び個別電子ジャーナルの新規資料申請状況について、高額資料の購入について、文献相互利用(ILL)における校費料金立替処理3月分の運用について、2023年度学部一般入試期間中の図書館の利用について、(再掲)国立情報学研究所提供システムの更新に伴うサービスの一部停止について、蔵書検索システム等の一時停止について、総合図書館屋上防水および空調改修工事の工期変更について)

第9回:2023年1月25日(水) [持回り開催]

- 報告事項(2022年度図書費予算執行状況(4月~12月)について、2024年度電子ジャーナルパッケージ及びデータベースの新規資料申請状況について、高額資料の購入について)

第10回:2023年2月15日(水) [オンライン開催]

- 報告事項(電子ジャーナルパッケージ・データベースの2023年購入資料タイトルについて、冊子体雑誌・個別電子ジャーナルの2023年購入資料タイトルについて、2024年度電子ジャーナルパッケージ及びデータベースの新規資料申請状況について、図書館ガイダンス予約システムの導入について、2023年度図書館ガイダンスについて、「新入生に贈る100冊〔電子版〕2023年度分」の提供について)

第11回:2023年3月15日(水) [オンライン開催]

- 報告事項(2024年度電子ジャーナルパッケージ及びデータベース(A+B)、冊子体雑誌及び個別電子ジャーナル(C+D)の新規資料受付結果について、2022年度高額資料一覧について、新型コロナウイルスの影響にかかる図書館の対応について、2023年度春学期企画展の実施について、学術リポジトリのアップデートに伴うサービス一時停止について、2023年度図書委員会等開催日程について)

2 2024年度以降の図書費検討専門部会

第6回:2022年4月15日(金) [オンライン開催]

- 議題(今後の検討事項について、その他)

第7回:2022年5月11日(水) [持回り開催]

- 議題(「2024年度以降の図書費検討専門部会での検討状況について(中間まとめ)」(案)について、その他)

第8回:2022年5月18日(水) [オンライン開催]

- 議題(授業で必要とするデータベースの選定概要とスケジュール(案)について、学習用雑誌の選定に関する施策について、その他)

第9回:2022年6月15日(水) [オンライン開催]

- 議題(実行施策検討スケジュール(案)について、授業で必要とするデータベースの選定概要とスケジュール(案)について、電子ジャーナルパッケージ、データベース選定概要とスケジュール(案)について、学習用雑誌の選定概要とスケジュール(案)について、説明会開催について、ルールの適用期間について、予算枠の確認について、その他)

第10回:2022年7月11日(月) [持回り開催]

- 議題(「2024年度以降の図書費予算のあり方について(検討のまとめ)」について、その他)

第11回:2022年7月20日(水) [オンライン開催]

- 議題(「検討のまとめ」(案)の図書委員会説明結果について、全専任教員向け検討のまとめ説明会の開催について、冊子体雑誌・個別電子ジャーナルの選定とスケジュール(案)について、分館の冊子体雑誌の選定における個別電子ジャーナルの取り扱いについて、授業で必要とするデータベースの選定とスケジュールについて、電子ジャーナルパッケージ・データベース選定とスケジュールについて、学習用雑誌の選定とスケジュールについて、相互利用補助の施策について、その他)

第12回:2022年8月24日(水) [持回り開催]

- 議題(「検討のまとめ」(案)への意見について、2024年度以降の図書費予算のあり方に基づく資料選定方法説明会について、分館の冊子体雑誌の選定について、その他)

- 第13回：2022年9月14日(水) [持回り開催]
- ・議題（「検討のまとめ」(案)への意見について、今後の予定について、その他)
- 3 図書館自己点検・評価委員会
2022年度は同委員会の開催なし
- 4 図書館会議
図書委員会開催の前週水曜日に図書館長と図書館職員で「図書館会議」を開催し、次回図書委員会事項等を協議している。
- 5 関西四大学図書館長会議
- ・開催日：2022年9月7日(水)
 - ・場 所：Zoom 利用によるオンライン会議
 - ・出席者：関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学 各大学図書館長及び事務管理職者
- (1) 報告事項
- ① 関西四大学図書館連絡会（2022.7.15開催）について
 - ② 関西四大学図書館職員研修会（2022.11開催予定）について
- (2) 近況報告・情報交換
「研究データの管理・利活用」、「所蔵する映像資料の取扱い」、「サブスクリプション契約の導入状況」、「為替変動による予算措置」などについて情報交換を行った。
- 6 講演会・セミナー・講習会等の開催
- (1) 講演会
- ・開催日：2022年11月16日(水)
 - ・演 題：「第六回 本問答：恋愛小説の愉しみ方～『ひまわりは恋の形』をメインテーマに読み解く～」
 - ・講演者：小説家・脚本家 宇山 佳佑氏
- (2) 館内での研修会①
- ・開催日：2022年9月30日(金)
 - ・演 題：「日本目録規則（NCR）2018について（基本編）」
 - ・主催者：キャリアパワー
- (3) 館内での研修会②
- ・開催日：2023年3月7日(火)
 - ・演 題：「著作権法第31条改正による「図書館等公衆送信サービス」の概要について」
 - ・主催者：紀伊國屋書店
- (4) 館内での展示①
- ・開催日：2022年4月1日(金)～6月30日(木)
 - ・内 容：「想像からはじめるSDGs」
 - ・場 所：総合図書館2階開架カウンター前
- (5) 館内での展示②
- ・開催日：2022年4月5日(火)～6月10日(金)、2022年6月20日(月)～8月31日(水)、2022年9月12日(月)～11月10日(水)、2022年11月21日(月)～2023年1月31日(火)
 - ・内 容：全館巡回企画展「図書館スタッフがおすすめする「今のあなた」に読んでほしい本！」
 - ・場 所：総合図書館2階開架カウンター前、高槻キャンパス図書館、ミューズ大学図書館、堺キャンパス図書館
- (6) 館内での展示③
- ・開催日：2022年4月～6月
 - ・内 容：企画展「百年史～関西大学と文学のあゆみ～」
 - ・場 所：高槻キャンパス図書館
- (7) 館内での展示④
- ・開催日：2022年4月～6月
 - ・内 容：企画展「世界へ！」
 - ・場 所：ミューズ大学図書館
- (8) 館内での展示⑤
- ・開催日：2022年4月～6月
 - ・内 容：企画展「TO THE FUTURE ―これからの社会 これからの自分―」
 - ・場 所：堺キャンパス図書館
- (9) 館内での展示⑥
- ・開催日：2022年7月～9月
 - ・内 容：企画展「聞く・話す・伝える」
 - ・場 所：高槻キャンパス図書館
- (10) 館内での展示⑦
- ・開催日：2022年7月～9月
 - ・内 容：企画展「お金の世界」
 - ・場 所：ミューズ大学図書館
- (11) 館内での展示⑧
- ・開催日：2022年7月～9月
 - ・内 容：企画展「バリアフリー & ユニバーサル（だれもが暮らしやすい社会）」
 - ・場 所：堺キャンパス図書館
- (12) 館内での展示⑨
- ・開催日：2022年9月27日(火)～年11月30日(水)
 - ・内 容：すいたクールアースウィークコラボレーションプールの展示
 - ・場 所：総合図書館2階開架カウンター前
- (13) 館内での展示⑩
- ・開催日：2022年10月1日(土)～2023年1月31日(火)
 - ・内 容：SDGs 教員推薦圖書の展示
 - ・場 所：総合図書館2階開架カウンター前
- (14) 館内での展示⑪
- ・開催日：2022年10月～12月

- 内容：企画展「これって依存症？～やめられないほど好きなもの、ありますか？～」
 - 場所：ミュージズ大学図書館
- (15) 館内での展示⑫
- 開催日：2022年10月～12月
 - 内容：企画展「Let's play sports ―子どもたちといっしょに―」
 - 場所：堺キャンパス図書館
- (16) 館内での展示⑬
- 開催日：2022年11月21日(月)～2022年12月5日(月)
 - 内容：吹田市下水道部パネル展示「知っていますか？下水道」
 - 場所：総合図書館2階開架カウンター前
- (17) 館内での展示⑭
- 開催日：2022年12月12日(月)～2023年1月31日(火)
 - 内容：企画展「SDGs めがね」
 - 場所：総合図書館2階開架カウンター前
- (18) 館内での展示⑮
- 開催日：2023年1月～3月
 - 内容：企画展「メディアが繋ぐ情報」
 - 場所：高槻キャンパス図書館
- (19) 館内での展示⑯
- 開催日：2023年1月～3月
 - 内容：企画展「貧困」
 - 場所：ミュージズ大学図書館
- (20) 館内での展示⑰
- 開催日：2023年1月～3月
 - 内容：企画展「身近な社会問題」
 - 場所：堺キャンパス図書館
- (21) 各種ガイダンス
図書館利用者教育の一環として、各種ガイダンスを実施した。

○「入門ガイダンス」

新入生のクラスを対象に図書館の基本的な利用方法と蔵書検索システム KOALA の使い方を説明。

- 実施期間：春学期 4月5日(火)～6月30日(木)
- 秋学期 9月21日(水)～11月30日(水)

○「活用ガイダンス」

【基本編】では、学習や研究に不可欠な、情報検索の基本を解説。個別に【データベース編】を選択・追加し、カスタマイズすることも可能。

- 実施期間：春学期 4月5日(火)～6月30日(木)
- 秋学期 9月21日(水)～11月30日(水)

○「入庫ガイダンス」

昨年度に引き続き、「書庫の利用方法」ビデオ視聴により、学部3年次以上の学生には自己申告により入庫資格を認めることとした。

○図書館ミニ・ガイダンス

蔵書検索システム KOALA をはじめ、新聞、論文、雑誌記事、法情報などのデータベース21種類から説明を受けたいデータベースを自由に選んで受講できる、1対1のオーダーメイド型ガイダンスを実施。

- 実施期間：春学期 6月1日(水)～7月30日(土)
- 秋学期 授業期間中（1月末まで）の平日・土曜

7 規程・内規・要領の改正

(1) 図書館利用に関する取扱要領の一部改正

- 改正理由：
 - 1) 総合図書館多目的閲覧室がGSC (Global Smart Classroom) に転用されたことに伴い、実態に合わせて改正する。
 - 2) 総合図書館グループ閲覧室の利用について、実態に合わせて改正する。
 - 3) 図書館等公衆送信サービスを導入するため。
- 改正箇所：第10条、第13条、別表第1（第2条関係）、別表第2（第3条関係）
- 改正内容：
 - 1) 多目的閲覧室に関する記述を削除する。
 - 2) 1日あたりの利用時間制限を撤廃し、申込開始日を春学期は1月1日から、秋学期は7月1日からとする。
 - 3) 図書館等公衆送信サービスを導入するにあたり、当該サービスに関する条項を追加する。

• 改正施行期日：2023年4月1日

(2) 関西大学図書委員会規程の一部改正

- 改正理由：心理学研究科選出の専任教育職員を構成員とすることに伴い、文言を修正する。
- 改正箇所：第2条
- 改正内容：心理学研究科選出の専任教育職員を構成員とする。

• 改正施行期日：2023年4月1日

「新入生に贈る 100 冊」にかかわる読書推進活動について

浦田 恵子

2018 年より、関西大学では丸善雄松堂株式会社、株式会社紀伊屋書店と協働し、読書推進企画「新入生に贈る 100 冊」に取り組んでいる。図書館においてもこの取り組みに絡めたさまざまな読書推進活動を実施してきた。これまでの活動について報告する。

1 概要

全国大学生生活協同組合連合会が毎年秋に実施している学生生活実態調査によると、2017 年、1 日の読書時間がゼロの学生が 5 割を超えた。当時の芝井敬司学長が活字離れの世代に、「本物の大学生になるために、本と向き合う決心を固めよ」と読書を呼びかけたのが「新入生に贈る 100 冊」の始まりである。当館ではそれまでも丸善雄松堂、紀伊屋書店の協力により電子書籍の試読サービスを導入していたが、この取り組みでは、学長と二大書店が幅広い分野から 100 冊を厳選し、本の内容を説明しながら読書意欲を誘う仕組みが特長である。選ばれた本の多くは電子書籍のため、時間や場所にしばられることなく気軽に読むことができる。また、2020 年からはスペシャルコンテンツとして、岩波文庫や岩波新書などから精選された 200 冊の電子書籍を読めるパッケージ「現代人の教養」を導入している。

2 これまでのあゆみ

図書館ではこの取り組みにあわせて、館内での展示や講演会など読書推進にかかわる活動を行ってきた。これまでのあゆみと統計から見た利用状況を述べたい。

○ 2018 年度

- 「新入生に贈る 100 冊」始動。
- 学習支援講座「書評のススメ」を実施¹⁾。
- 受講生が作成したキャッチコピーと本の紹介に投票する「KANDAI OBI-1 グランプリ」を実施。本の帯として巻いた本を陳列、販売するコーナーを書店に設置。

○ 2019 年度

- 関大生による本の帯プロジェクト（オビプロ）を実施²⁾。
- 学生が作成した読書カルテをもとに、書店員やバイヤーがお勧め本を紹介する「オーダーメイド選書」を実施。
- 第 1 回本問答『われらの子ども』、第 2 回本問答『サムラ

イブルーの料理人』、第 3 回本問答『100 の思考実験』を実施。

- 『美女と野獣』の映画上映会実施。

○ 2020 年度

- オビプロ実店舗での展示、ウェブストアでの紹介を実施。
- 長沼陸雄氏によるオンライン講演会『10 代のための疲れた心がラクになる本』を開催。
- 水島広子氏からのメッセージ「緊急事態宣言下での『折れない心の作り方』」を掲載。
- 「新入生に贈る 100 冊〔電子版〕を読んで関西大学図書館とつながろう！」を実施

○ 2021 年度

- 自分の気分に合わせておススメ本 1 冊をアプリで紹介する「KANDAI BOOK LUCK」を実施。
- 第 4 回本問答『ミツバチの会議』、第 5 回本問答『プラスチックの現実と未来へのアイデア』をオンライン開催。

「新入生に贈る 100 冊」では、読書にもっと親しんでほしいという願いを込めて、学長と書店が本を選んでいる。取り組みが始まった頃は、選書した紙の書籍を電子化するよう書店に交渉することもあったが、電子書籍の市場拡大により、現在では数多くの電子書籍から選書できるようになった。また読み上げ機能も今ではほぼ標準の機能となっている。

2020 年、コロナ禍によりキャンパスへの入構や課外活動が禁止され、春学期は授業のほとんどがオンラインを活用した遠隔授業となった。当初は課題の量や新しい授業のスタイルに戸惑った学生もいたが、自分のペースで学習を進められるというメリットを生かして、効果的な学習する姿が見られるようになったことが、大学のアンケートから明らかになった。この取り組みでも電子書籍のアクセス数が前年度の約 2.5 倍となるなど顕著な影響が見られ、図らずも電子書籍を中心にそろえる方針が役立つ機会となった。また、『10 代のための疲れた心がラクになる本』『10 代のうちに知っておきたい折れない心の作り方』といった心のケアに関する書籍がよく読まれ、想定外の大学生活となった学生の心理を反映したことをうかがわせる結果となった。

2020 年をピークに電子書籍の総アクセス数は減少傾向であるが、現在でも友人関係やコミュニケーションのとり方といった、新入生にとって身近な問題を扱う書籍がアクセス上位

にある。また学期始めである4～5月、10月にアクセス数が伸びることや授業で指定があったと思われる本は統計の上位にあることから、今後も授業と連携しながら時流に合ったテーマの本を選書することが必要であろう。

3 2022年度の活動

(1) 第6回本問答

日時：2022年11月16日(木)13:00～14:30

講師：宇山佳佑氏

演題：「恋愛小説の楽しみ方 ～『ひまわりは恋の形』をメインテーマに読み解く～」

会場：総合図書館ラーニング・コモンズ ワークショップ・エリア

「新入生に贈る100冊」からピックアップした1冊の本について、著者の方や本の制作に携わられた出版社の方を招き、深く掘り下げる企画「本問答」を2019年以降実施している。『ひまわりは恋の形』は各キャンパス図書館に冊子体を配架しており、非常によく貸し出されている。講演会当日も数多くの学生が参加した。

宇山さんは自己紹介のなかで、幼少期に架空の場面を想像して遊んだことが作品づくりの原体験となっていること、ドラマを通じて脚本家という仕事に興味を持ち始めた中学時代、よく本を読んだ高校生や大学生のころの読書歴を振り返りつつ、「読んだ本を棚に並べると、人生の歴史を一つひとつ重ねている感じがします。将来自分が悩んだり挫折したりしたときに、本が助けてくれる経験はきっとあります。心に残った本は手元においておくことをお勧めします」と読書に対する考え方を参加者に語りかけた。

恋愛小説の楽しみ方については、「恋愛小説として読まないことがいいのかなと思っています。主人公とヒロインが結ばれるかどうかではなく、出会いを通じて何を考えて何を得たのかなど、物語の中で生きる人たちの人生を描くのが大事だと思っています」と作者の想いを伝えた。

参加した学生からは、プロットづくりや出版社との関わり

など次々と質問の手が上がり、「作家の方とつながれる貴重な機会だった」「小説や物語をつくるということについて作家の方からお話を聞けて嬉しかった」といった感想が寄せられた。講演後に行われたサイン会では宇山さんの本を手にした多くの学生が並び、講演会は盛況のうちに終了した。

(2) 100冊おみくじ

期間：2022年9月30日～2023年3月15日

場所：総合図書館2階

2022年の秋、図書館のインターンシップに参加した森谷文香さん(文学部3年次生)、柴田豊南さん(社会学部3年次生)³⁾の発案による「100冊おみくじ」を総合図書館に設置した。おみくじには100冊のうちの1冊のタイトルやQRコードが書かれており、おみくじをひいた人が簡単に電子書籍にアクセスしたり、図書館で本を借りたりできる仕組みである。

「学生が読もうとする本の世界は狭い。例えば文系の学生は理系の本に手を出しにくく、逆も同様である」と気付いた二人が、ランダムに学生が本を手にするには、おみくじのような趣向もよいのではないかと考えたことが発端である。おみくじの箱を設置後、順調に利用が進み、200人以上がおみくじを活用するという人気企画となった。

4 最後に

冒頭でも述べた全国大学生生活協同組合連合会が昨年の秋に実施した調査によると、下宿生は仕送り額が1982年以降で最も少なく、飲食を切り詰めるなどして仕送り額の減少を補う状況が見られるという。また物価高騰の影響は明らかでないとしつつも、経済生活に関する悩みが今後も徐々に増えることが懸念されるとしている。図書館では、雑誌の値上げや書庫の狭隘化などの問題に加え、昨今の円安による負担が増え厳しい状況が続いている。そのような状況でこの取り組みを5年間継続し、延べ約500冊の資料を提供、さまざまな読書推進活動を続けてこられたのは、豊富な知識と読書経験を持つ先生方や各書店のご尽力だけでなく、教育後援会、ひいては父母の皆様方のご支援の賜物であることは忘れてはならない。

「新入生に贈る100冊」が始まって以降、専攻する学びに応じた100冊を紹介する学部や、大学前商店街に設置した「関大前まちかど図書館」など、図書館以外の組織による取り組みも展開され、大学全体で読書推進の動きは加速している。本を読んで世界を広げ、一回りも二回りも大きく成長した学生を社会に輩出する一端を担っているという意識で、今後も読書推進活動に取り組んでいきたい。

注

1) 「書評のススメ」については、北野(2019)が論じている。



「新入生に贈る100冊」にかかわる読書推進活動について

- 2) 「オビプロ」については、新谷（2020）が論じている。
- 3) 両名とも年次は当時のものである。

ム』24, 2019、pp1-3
新谷大二郎 “関大生による本の帯プロジェクト「オビプロ」
の実施について”『関西大学図書館フォーラム』25, 2020、
pp38-41

参考文献

北野正人 “関西大学図書館 図書館学習支援講座『書評の
ススメ!』の実施について”『関西大学図書館フォーラ

(うらた けいこ 図書館事務室)

図書館出版物案内

1 冊子目録等

- 細江文庫目録……450円 ※
わが国英語学界の重鎮、故細江逸記の旧蔵書目録。
- 大阪関係資料目録……650円
昭和35年1月1日現在所蔵の大阪府、市関係の図書・地図・近世文書・堂島文書・芝居番付・明治中期広告の総合目録。
- 生田文庫・穎原文庫目録……非売品 ※
在野の万葉集研究家故生田耕一の旧蔵書の一部と、故穎原退蔵旧蔵書の目録。
- 吉田文庫目録……1,300円 ※
元トルコ駐在特命全権大使であった故吉田伊三郎の旧蔵書目録。
- 岩崎美隆文庫・五弓雪窓文庫目録……1,500円 ※
江戸時代末期の国学者岩崎美隆の旧蔵書目録と、幕末の漢学者五弓雪窓の旧蔵書目録。
- 増田涉文庫目録……6,000円 ※
わが国魯迅研究の第一人者であった元文学部教授故増田涉の旧蔵書目録。魯迅の全著作の初版本他。
- 矢口文庫目録……2,700円 ※
本学の元学長で、イギリス経済史学界の重鎮であった故矢口孝次郎の旧蔵書目録。
- 極東国際軍事裁判資料目録……非売品 ※
極東国際軍事裁判における検察側及び弁護側提出の書証と関係資料の目録。
- 近世文書目録 ※
その一……1,350円、その二……2,000円
大阪周辺の庄屋文書を核に、ほぼ全国各地の近世文書を加えたコレクション。

- 大阪文芸資料目録……3,500円 ※
明治以降の、大阪にゆかりのある作家・画家・芸人などの作品や大阪を題材とした作品などの本学所蔵コレクションの目録。
- 内藤文庫漢籍古刊古鈔目録……2,500円 ※
内藤湖南・伯健父子旧蔵書の一部善本類の目録。
- 内藤文庫リスト No.1～No.5…非売品（ただし、No.1は品切）※
- 芝居番付目録……8,000円 ※
大阪を中心とする宝暦から昭和に至る歌舞伎、浄瑠璃等の芝居番付約6,500点の目録。
- 摂津国嶋上郡高浜村西田家文書目録……非売品
- 河内国丹北郡六反村谷川家文書目録……非売品
- 摂津国住吉郡中喜連村佐々木家文書目録……非売品
- 和泉国大鳥郡豊田村小谷家文書目録……非売品
- 和泉国大鳥郡岩室村中林家文書目録……非売品

2 CD-ROM版

- 内藤文庫目録 KUL-bijou……非売品

3 図書館出版図書

- おおさか文藝書画展 図録……2,000円
平成6年9月、図書館創設80周年記念・文学部創設70周年記念として開催した「おおさか文藝書画展—近世から近代へ—」の図録

注 ※印は関西大学図書館ウェブサイトの特典コレクションにて目録を公開している。
(<https://opac.lib.kansai-u.ac.jp/>)

『関西大学図書館フォーラム』投稿要項

制定 平成 8 年 3 月 31 日

改正 2019 年 2 月 13 日

概要を次のように定める。

(1) 原稿執筆者の範囲

原則として、依頼記事・寄稿記事いずれの場合も、本学の教育職員並びに本学図書館所属の職員を執筆者とする。

(2) 原稿の内容

次のいずれかで、執筆者自身の未発表原稿とする。

- ア 研究論文・研究ノート
- イ 図書館に関する調査・意見
- ウ 本学所蔵資料の紹介
- エ 図書館職員のレポート
- オ その他図書館に関する記事

(3) 掲載

予定の紙幅を超える寄稿があったときは、掲載する号を図書館長が決定する。

(4) 謝礼

依頼記事の執筆者（図書館職員は除く）には、若干の謝礼を贈呈する。ただし、抜刷は提供しない。

(5) 投稿先

関西大学図書館事務室（TEL 06-6368-1157）
電子メール（lib-ent@ml.kandai.jp）

(6) 執筆要領

- ア 本誌 1 ページにつき 2,070 字相当とする。
- イ 原稿は横書き、電子メールまたは図書館が再生可能な電子媒体での提出を原則とし、手書き原稿も可とする。
- ウ 電子メールまたは図書館が再生可能な電子媒体で提出する場合は、プレインテキスト（txt）形式もしくはワープロ形式を原則とする。
- エ 本文中に図・表または写真を掲載する場合は、その相当分の字数を割愛する。
- オ 原稿は次の順に記載する。
 - ① 標題、② 執筆者名、③ 本文、④ 注記、⑤ 引用文献、⑥ 参考文献、⑦ 執筆者名の読みがな・職名
- カ 原稿の表記は、次に従うものとする。
 - ① 漢字は原則として常用漢字を用い、新かなづかいによる。書誌学的な理由などから、特に旧字体を使用する必要がある場合は、原稿用紙の右欄外にその旨を記す。また、欧文原稿を除き句読点は「。」、「、」を用いる。
 - ② 数字は、引用文および漢語の一部として漢数字が習慣的となっている場合を除き、原則としてアラビア数字を用いる。

③ 引用文献、参考文献の記載方法は、次のとおりとする。

a. 雑誌論文の場合

筆者名“論文標題”『雑誌名』巻（号）、年月、ページ

b. 図書の中の一部引用の場合

著者名“論文標題”『書名』（図書の著編者名）出版地、出版者、出版年、ページ

c. 図書の場合

著者名『書名』出版地、出版者、出版年

d. 欧文の場合は、著者名を転置形として、雑誌名または書名には『 』を付さずにアンダーラインで示す（印刷では、イタリック体活字になる）。

[例] Downs, Robert B. “How to start a library school.” *ALA Bulletin* 52(6), 1995. 6, pp.32-48.

e. インターネット上の文献

著者名“文献標題”[参照年月日]（URL）

[例] 永沼博道 “21 世紀の大学図書館に向けて—伝統と現代化の相克” [参照 2003. 1. 20]

（URL http://web.lib.kansai-u.ac.jp/library/about/lib_pub/forum/2002_vol7/2002_01.pdf）

キ 図・表は、図 1、図 2、表 1、表 2、fig. 1 のように記す。

図または表を電算等で出力したものをそのまま使用するとき、鮮明なものを用いる。写真は出来るかぎりモノクロームを用いる。図、表、写真には、その裏に執筆者名、標題、図 1、図 2、表 1、表 2 のように番号を鉛筆書きのこと。

ク 校正は、初校を執筆者に依頼し、再校以降は図書館が行うことを原則にするが、必要のある場合は、再校以降についても執筆者の協力を得るものとする。

(7) 掲載された著作物の著作権

掲載された著作物の著作権は、当該著作物に関する複製及び公衆送信を関西大学図書館に対して許諾したものとみなす。関西大学図書館が複製及び公衆送信を第三者に委託した場合も同様とする。

以上

編集後記

この度、図書館フォーラム第28号が無事に刊行される運びとなり、編集担当一同、嬉しく思っております。ご多忙の折にもかかわらず、快くご執筆いただきました皆様、ならびに編集にご協力いただきました皆様方に心より感謝申し上げます。

さて、日々の業務では数多くの刊行物を扱っておりますが、今回ご縁あって初めて自身が刊行に関わる立場になり、これほど多くの人の手によって1つの刊行物が完成していくのだということを改めて実感いたしました。

また、この約3年、新型コロナウイルスの影響で授業もオンライン化が進み、図書館においても利用制限がかけられ、利用者の皆様には大変ご不便をおかけしたことと思います。図書館所蔵資料に関しても、紙媒体から電子媒体へ移行するものが一気に増えましたが、これは、以前に比べ図書館外から閲覧が可能になった資料も増えたことを意味します。自由に来館いただけない中、どのように皆様に情報源をお届けするかというのは図書館の課題でもありましたが、申請書類のメール受付等、サービス関係も含め、来館いただかずとも図書館へアクセス可能となるよう進化できたことは、大きな1歩だったのではないかと思います。

なお、本号で井谷聡子先生にご紹介いただいた『Archives of Sexuality & Gender: LGBTQ History and Culture Since 1940』シリーズも電子資料として所蔵しておりますので、是非ご利用いただければ幸いです。

アナログなイメージを持たれることも多い図書館ですが、学術情報基盤として、時代の流れに取り残されぬようこれからも尽力していく所存ですので、今後も関西大学図書館をよろしく願い申し上げます。

最後まで図書館フォーラム第28号をご覧いただき誠にありがとうございました。

(三好)

図書館フォーラム編集担当

大上 良樹・田中 舞衣・三好 早紀

関西大学 図書館フォーラム 第28号 (2023)

2023年6月30日発行

編集・発行 関西大学図書館
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL 06-6368-1157
<https://opac.lib.kansai-u.ac.jp/>

制作 (株)遊文舎
〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-17-31
TEL 06-6304-9325



Kansai University
Library Forum